



第13回(通算第25回)通常総会議案書

日 時 : 2017年6月11日(日)

10:30~14:00

場 所 : 藤沢商工会館ミナパーク

# 総 会 次 第

1. 開 会

2. 理事長挨拶

3. 来賓挨拶

4. 議長選出

5. 資格審査

6. 議事審議

    第 1 号議案 事業報告

    第 2 号議案 決算報告および監査報告

7. 報告

    事業計画および事業予算

8. 永年勤続表彰

9. 閉 会

# はじめに

私たちの市民参加の街づくりの活動も26年目に入り、今年は「ぐるーぷ藤二番館・柄沢」の開設に伴い“手漕ぎボート”から“飛鳥”を経て“クィーンメリー号”に乗り換える時が来ました。

活動開始から15年で子ども、障がい者、高齢者が助け合って暮らす共生型福祉マンション「一番館・藤が岡」を開設し、25年の節目の年に、井戸水による水洗トイレ等を整備した、地域の防災拠点としての役割を持たせた「二番館・柄沢」建設と、自分たちの夢に向け確実に船を前進させてきました。これは全て、ぐるーぷ藤乗組員と私達を信頼して乗船して下さった方々との、心を一つにした信頼関係があったからこそ成しえたことです。

一方今年は、来年の医療・介護の同時改正に向け法整備が行われる最後の年です。互助社会の復活という市民活動に期待を寄せ導入された総合事業も、まだ様子見の段階で本来の内容が見えてきません。軽度者のサービスの在り方もまだまだ議論が必要です。そんな中、介護保険の利用料金だけは負担の増加が決定されています。どうしたら介護保険制度を持続させ、必要な人に必要なサービスが届く仕組みにしていくのか、真剣に考える時に来ています。

今後も私たちは介護の質を落とすことなく、市民一人一人が役割を持ち、生き生きと生活できる仕組み作りを続けて参ります。また、自分たちが住み暮らす地域にこだわり、市民の安心・安全・快適な街づくりを推し進め、長期目標である“クィーンエリザベス号”を目指し、三番館事業計画に着手していく所存です。

## 第1号議案

### 2016年度事業報告

#### 1. 組織運営

福祉マンション「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」は今年も地元藤が岡の地に根づく活動ができました。大勢いる地元のスタッフの様々なご縁からどんぐり園はじめ地元自治会・学童保育・中学校などとの交流が頻繁に行われ休日にはスタッフの子どもたちがボランティアとして来館することが定着しています。

ぐるーぷ藤では、ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することを方針として掲げていますが、今年度も多くのスタッフが部門を越えて活躍しました。

今年度は念願であった「ぐるーぷ藤二番館・柄沢」の建設に着工しました。11月末に完成した事業棟は「ぐるーぷ藤二番館・アクア棟」と命名し12月初めには大鋸から「藤の花」が移転し、続いて12月中旬には「ケアマネジメント」「計画サポート」も移転しました。新規開設の「アクアデイ菜の花」のオープンには複雑な「不動産登記」や「開設に伴う神奈川県への申請」についてコンサルタントの協力も得、一月開設にこぎ着けました。開設準備にはケアマネ部門を中心に各部門が結集し法人全体で取り組みました。

新規事業としては9月より藤沢市子どもの生活支援事業を受託し「ヨロシク♪まるだい」の終了後の時間を利用して、週3回16:00~21:00の間、子ども食堂として「こども♪まるだい」を開設しました。

運営については、年4回の理事会で予算をはじめ事業運営に関する重要事項の検討を行い、必要に応じて開催した運営会議で随時新たな課題についての検討を重ねました。役員及び各事業部門の代表で構成された部門代表会議を年19回開催し、理事会での決議を踏まえて各事業に関する諸事項の討議を行いました。全会員に対し月1回の運営報告会で運営状況の報告を行い情報の共有を図りました。また部門ごとに会議や担当者ミーティングを持ちそれぞれの課題を話し合うとともに、研修の場となるように努めました。部門の枠をこえた委員会活動やプロジェクトは、さまざまな形で会員が運営に参加する機会になりました。

## 2. 事業・活動部門

### 2-1 訪問介護事業（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

ご利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えました。

介護保険では、昨年度の法改正に伴い10月から要支援の方が藤沢市の総合事業に移行しました。ケアマネジャーや包括支援センターとの協力の下、現場での大きな混乱もなく移行が終了できました。サービスAに移行される方、ご自分で出来ることはやっていこうと少し時間を短くされる方、ぐるーぷ藤のたすけあいサービスを併用して今までと同じ支援を受けられる方等、内容は少し変化しましたが今まで通りの生活を継続していただくことが出来るように支援しました。また、在宅生活が難しくなったご利用者を「しがらきの湯」に繋いだり、お元気なご利用者を「アクアデイ菜の花」に紹介したりとぐるーぷ藤の中で連携がとれた事が多く、大きな成果だったと思います。

本来事業では子育て支援終了後の不安が解消するまでの訪問、介護保険で不足するサービスの提供、認定を待つ間の緊急な対応等、ぐるーぷ藤らしいサービスを提供することが出来ました。

障がい者総合支援法では児童のご利用者が思春期になり、心と身体の変化に戸惑い情緒が不安定になる中、ヘルパーも模索しながら対応しました。産後うつ状態の若いお母さんからの依頼には退院後すぐに対応し、悩みを共有しながら支援を提供しました。精神障がいや知的障がいのある様々なご利用者に寄り添う事の難しさを感じた1年でした。

事業所加算Ⅱを取得した事業所として関係機関からの多様な利用依頼に出来る限り応える努力を行いました。突然の対応や、緊急時の短時間ではありますが頻回な訪問等、ご利用者に必要な支援を必要な時に提供することが出来ました。訪問介護の介護力アップとヘルパーの資質向上のために、福祉ネットワークの田川和子先生に「利用者の気持ちになった支援とは」の研修を行っていただきました。また様々な事例検討を毎月の会議で行い、現場での出来事をヘルパー全員で共有し対人援助の基本の確認を常に行いました。

### 2-2 通所介護事業（アクアデイ菜の花）

神奈川初、全国で2番目に超音波流水プールを導入した機能訓練型デイサービス「アクアデイ菜の花」は1月4日に満を持してオープンしました。

通常の水の中運動の2.2倍の効果のある超音波流水プールは、らせん状の流水と100万回/秒の微細な振動が体表面から深部に働きかけ全身の循環が良くなります。介護予防から麻痺のリハビリまで様々な介護度、身体状況の方がその効果を実感され「体が軽くなった」「腕の可動域が広がった」等早々に良い評価をいただいています。スタッフはプールの効果を最大限発揮出来るように水中運動の研究者須藤明治医学博士の講義の受講、実技研修等で日々研鑽に努めています。柔道整復師によるマッサージ、アロマセラピストのリラクゼーション

や木のぬくもりが優しいプレミアムジム、大型スーパーまでのウォーキングと買い物等の機能訓練、さらに前頭葉を刺激し認知症予防に期待される和太鼓等ご利用者の好奇心と意欲を引き出すプログラムを充実させています。

地域の方にたくさん利用していただくために地域包括支援センター、自治会、居宅介護支援事業所や近隣等にリーフレットの配布、回覧板等で周知に努めました。

### 2-3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

ご利用者に対しきめ細かいアセスメントを行い、自立支援を目指した公正中立なケアプランを作成しました。ご利用者の状況の変化やサービスが適切であるか定期的にモニタリングを行い、サービス担当者間の連絡調整を密に行いました。

要支援の方は4月に地域包括支援センターの増加に伴う契約、10月からの介護予防・日常生活支援総合事業への移行に伴う訪問介護の契約変更と大変なご負担となりました。ご利用者に不安を抱かせないよう説明会、研修に参加し知識を習得しました。また事業所、包括支援センターと協力し説明・計画作成をおこない大きな混乱もなく移行することができました。

老々介護の増加に伴い、頼る身内も近くにおらず混乱してしまう奥様のケースもありました。何回も足を運び丁寧に説明を重ねることでご利用者の支援はもちろん家族の支援にも時間をかけて在宅生活が継続できるようにしました。

1月に法人内に新しいデイサービスができたことによりケアマネ自ら体験しご利用者に説明することで興味をもっていただくことができました。

### 2-4 小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤 藤の花）

在宅生活を基本に「通い・泊り・訪問」を柔軟に組み合わせたサービスで、ご利用者・ご家族がいきいきと安心して毎日を送れるように支援しました。通い・泊りでは集団でも自分らしく過ごせる環境作りに努めました。多くのボランティアに支えられ織物教室、玄米にぎにぎ体操、音楽レクリエーション、お菓子教室、ドッグセラピーなどを行い、楽しみながらできる機能訓練の機会を提供しました。お出かけデイではご利用者の身体状況にあわせてマンツーマン対応がふえましたが、季節を感じていただくことを大切にしました。12月柄沢に移転し近隣の神社やスーパーに出かけたり、「アクアデイ菜の花」の超音波流水プールを利用するなど外出や散歩、機能訓練のレパトリーが増えました。「菜の花」のプール利用は大変好評です。

小規模らしく柔軟にその方に必要とされる支援を行いました。毎日の安否確認訪問やお弁当配達、相談日当日からの利用日変更や泊まりの利用などにきめ細かく対応しました。

家族会は移転後の2月に開催し、6家族7名の参加を得ました。明るく広々とした施設内と、散歩に行く場所がある近隣の環境を喜ばれていました。また、

ご家族としての悩みや不安を共有できる場の提供となりました。

地域交流は町内会館をお借りして、認知症サポーター養成講座やコグニサイズ（認知症予防体操）講習会を開催し、地元の福祉施設として周知していただくよう努めました。

今年度より開始した「藤の花」の独自研修は、日々行っていることをスタッフ自らが調べ講師となり勉強会を行うことで、ケアの根拠を理解したり細かな技術習得ができました。

## 2-5 看護小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯）

「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」を組み合わせ、医療依存度の高い方や退院後の療養生活が安心して送れるよう支援しました。地域の医療機関をはじめ他市の大学病院などからの依頼も多く、主治医の指示書をもとに訪問看護を行い退院直後の在宅生活へのスムーズな移行やガン末期の看取りケアを他職種と連携し迅速かつ包括的に対応しました。ご利用者やご家族の思い、健康状態に応じて、泊まり・訪問のプランを増やすなど身体的、精神的サポートを行いました。

季節感を取り入れた環境作りを大切にしながら生活リハビリを中心とした個別機能訓練を行い、菜の花の超音波流水プールも徐々に取り入れ日常生活動作の向上をめざしました。また、ボランティアの協力もあり音楽レクレーション・ダンス・三味線などを鑑賞、自治会行事のお祭りや餅つきに参加し地域社会との繋がりを持ちました。外食レクでは四季折々の花を見たり「オハナ」や近所のレストランで外食をし、いつもは食べられない形態の食事でも環境の変化や外の方との触れ合いの中で食べられることができ、楽しみや喜びを感じられる機会を作りました。

介護・医療の研修を始め毎日の送迎や外出時の安全のため福祉車両運転講習会などにも出席し、スタッフ間で共有しスキルアップを図りました。夜間を含めた定期的な防災訓練を行い必要な備品のチェックや緊急時の対処方法など確認を行い災害時に備え防災意識を高めてきました。また、今年度は湘南平塚看護専門学校の実習生を延べ20名受け入れ、小規模多機能型居宅介護サービスとの違いや看護師の働き方を学ぶための協力をしました。

## 2-6 訪問看護（訪問看護ぐるーぷ藤）

ご利用者の思いを大切に、住み慣れた地域や家で安心して豊かな在宅生活を送れるよう支援しました。ご利用者とご家族の気持ちに沿った個別看護サービスを提供することを心がけると共に医師の指示による医療処置を確実に行いました。ケアマネジャー・薬剤師・PT・ヘルパーなど多職種との連携を密に図り、予防的看護からターミナルケアまで総合的かつ継続的に対応しました。在宅リハビリも積極的に行い、転倒・骨折などを未然に防げるよう日常生活の

サポートに努めました。長くご利用している方も多く信頼関係を構築できご家族の精神的援助をしました。

看護小規模多機能型居宅介護でも、医療的処置だけでなくリハビリや精神的ケアにも心がけ、電話相談や多くの訪問も行いご家族の不安緩和に努めました。今年度も介護スタッフの胃瘻・喀痰吸引処置を指導看護師が確認・指導しご利用者の個々の活動を広げていけるよう支援をしました。

また、一番館にお住いの方の健康相談や緊急時に対応し、スタッフからの相談には共に考えアドバイスをし安心を提供してきました。

## 2-7 障がい者グループホーム

障がいのある方たちが緩やかな家族のように助け合って暮らすグループホームでは、皆が安心して毎日が過ごせるよう支援をしました。

通所先での人間関係に悩む時、不安や迷いが出てきた時など様々な立場のスタッフにいつでも話せることで、利用者自身の出来ることが発見でき、自ら明日にむかって進んでいけるように手助けしてきました。

満室にもかかわらず新たな入居希望者からの見学、相談が途切れることなく、どちらのグループホームも藤沢市内で特徴的なホームとして、入居待ちの登録を希望される方が多くいました。

### (藤が岡の家)

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、担当スタッフだけでなく看護師はじめ他の部門のスタッフの温かい声かけや見守りを通して安心の暮らしを提供しました。加齢による体調の変化も加わって、利用者同士で小さな波風が起きたり、気持ちが不安定になることが増えてきました。そんな時にスタッフに相談しながら、大きな病状の変化を防ぐことができるようになるのが目標です。

### (本藤沢の家)

今年は1名の新入居者を迎え21歳から58歳までの幅広い年代で、より自立に近いお隣さん感覚で暮らすグループホームとして定着しました。平日は「レストランオハナ」からバランスの整ったたっぷりの夕食提供を受け、夕食の時間が楽しい交流の場となっています。自分たちで行う配膳や汁ものつくりの共同作業でお互いの関係が深まり家族らしくなってきました。

毎週土曜日は料理サークルのメンバーが集まり、夕食をスタッフと一緒に作っています。利用者の意見で徐々にメニューが増え、一人ひとりの調理の技術も上がってきました。また月に1回の手芸サークル「けいと玉」は、外部のボランティアさんが増えにぎやかに楽しみながら、作品を一番館やオハナで見ただけなのが励みになっています。



## 2-8 障がい者相談支援事業（計画サポートぐるーぷ藤）

障がいがあっても地域で自分らしく暮らし続けていくために、障がい福祉サービスを中心に様々な制度やサービス、社会資源や人を調整しその方に寄り添い活動してきました。同一法人内に障がい居宅介護事業と精神障がいを中心としたグループホームを持っていることから、関係者および精神障がいを優先して計画作成を行いました。

常に痛みと不安の訴えがあり向精神薬や痛み止めを多量に服用していた利用者の安否確認がとれなくなり、夜間訪問したところ亡くなっていたというケースに遭遇したこともありました。家族も疎遠で一人暮らし、経済的な困窮、孤独、虐待、病気とそれぞれの状況にあわせて必要とされるサポートは多岐にわたります。

藤沢市ではほぼ全利用者に計画が付きましたが、いまだセルフプランの方が6割を超える現状があり今後さらに相談支援の充実が望まれます。様々な障がい特性に合った多様なニーズにこたえられるよう、相談援助のスキルと知識を身に付ける為に外部の研修に積極的に参加しています。

## 2-9 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

「終の棲家」としてお住まいの方にその方らしく心豊かに暮らしていただくために、必要に応じて介護保険による看護小規模多機能型居宅介護、小規模多機能型居宅介護、ホームヘルプ、外部事業所のデイサービスなどを利用し、生活の質を維持できるように支援しました。看護師による個別相談を充実させ、訪問診療・訪問歯科・歯科衛生士による口腔管理・隔月の眼科健診等を通し主治医とコミュニケーションを密にして体調管理も行いました。

居心地の良い環境づくりを基本とし、お一人おひとりが生活を楽しみ社会交流の場となる機会として、お茶会、お花見、夏祭り、クリスマス会などを企画しました。お住まいの方の笑顔に出会う度にスタッフの仕事へのやりがいにもつながりました。

看取りケアでは残された人生を可能な限り充実したものにする為に、ご本人やご家族と十分に話し合う機会をもち、看取りへの不安や迷いなどの気持ちに一つひとつ寄り添いました。今年度より、三重大学准教授の竹内佐智恵先生にも加わって頂きご家族の心理的、精神的支援に努めました。スタッフ一同もう一つの家族として役割を担いました。

## 2-10 厨房及びレストラン（オハナ）

厨房では一番館にお住まいの方・医療依存度の高い看護小規模多機能型居宅介護をご利用されている方に、栄養バランスの取れた献立を提供しました。衛生的で楽しい食事を安心して召し上がって頂くために、内部・外部研修に参加しました。中でもメディケアフーズ展では高齢者の食べやすい食事の作り方や

食材について学びました。

更に宮城県山元町の地域の方々に作って頂いた、六つ編み竹かごを使い美味しさだけでなく季節感を演出し、見た目の華やかさも楽しんで頂きました。安全で温かい食事を提供をするために他部門のスタッフと連携を図り配膳車を新しく導入しました。

レストラン「オハナ」では施設のシンボルとして、地域の方の交流の場・憩いの場をめざしサービス向上に努めました。お客様のニーズにも応え期間限定「サラダうどん」と「オハナ丼」も発売しました。

今年度は看護小規模多機能型居宅介護のレクリエーションの場としてケーキバイキング等を行いご利用者に喜んで頂きました。また本藤沢の家の夕食提供を継続し、世代に幅のあるご利用者に満足して頂けるようメニューに変化を付け対応しました。

### 2-1-1 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・保健師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャー等が常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に24時間応じました。

一番館前のバス停を降りたお子さんがその直後車と接触し、目撃したスタッフがいち早く救急車を呼び、その間常駐の看護師が駆けつけ手当をするという連携プレーで無事救急搬送され安堵しました。

長年の経験を生かし緊急のSOSに対応するとともに、一人ひとりの状況を理解し、弁護士・民生委員・地域包括支援センター等に橋渡しをするNPO版地域包括支援センターの役割を担っていると自負しています。

### 2-1-2 ヨロシク♪まるだい

地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」は、市民の居場所として定着し月平均1300人前後のご利用者がありました。ご利用者同士が支えあう姿も見られ、地域の中での孤立化を防ぐ事ができました。近隣住民の方で、体調の変化があり心配な方を地域包括支援センターと情報共有し、支えていく役割も果たす事ができました。ミニデイでは昨年に引き続き太極拳、手芸、フラダンス、麻雀、ブレイン体操、お茶会に加えて今年度は新たに地域のボランティアによるギターコンサート、囲碁・将棋、歌声サロン、映画鑑賞会も加わり、多くの方に楽しんで頂く事ができました。

昨年度より行っている「終活セミナー」では、片付け・藤沢型包括ケアシステムについて・介護保険の説明・老後の相続税対策・老後の安心サポートのテーマで実施し、これからの暮らし方、生き方をみなさんと一緒に考えていくきっかけ作りを行いました。認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続ける支援体制作りに向けて「認知症サポーター養

成講座」も行い、担い手作りにも繋げました。

今年度より、藤沢市の第1層の生活支援コーディネーターが配置され、地域ささえあいセンターが市内3か所になり、第2層生活支援コーディネーターを含めた連絡会を定期的に行い互いの情報交換、行政との意見交換も行われるようになりました。「生活支援コーディネーター研究協議会」「支えあいをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」などの研修に参加し、第2層生活支援コーディネーターとしての役割と理解を深め、確認を行う事ができました。

### 2-13 こども♪まるだい

2016年9月から藤沢市の新しい委託事業として、子どもの生活支援事業「こども♪まるだい」がスタートしました。「こども♪まるだい」は、子どもたちが安心して放課後を過ごす居場所です。宿題をしたり、ゲームをしたり、おやつや夕飯をいただいたり、教育関係者OBや文教大学の学生ボランティアと共に過ごしています。藤沢市の農福連携事業を利用して、JAさがみ(わいわい市藤沢店)及び市内農家の方々より、野菜を中心とした農産物のご提供をいただき、子どもたちは栄養たっぷりのあたたかいご飯を楽しんでいます。季節折々の行事でも食事を大切に考え、できる範囲で子どもたちと一緒につくって、一緒にいただいています。「こども♪まるだい」主催イベント(ハロウィンパーティ、豆まき)や「ヨロシク♪まるだい」との共催イベント(クリスマスパーティー)では、地域の皆さんといっしょに過ごすことで、「地域の中のもうひとつの家族」として定着してきています。

## **3. 管理部門**

ぐるーぷ藤総体の事務局として管理運営に責任をもち、効率的に業務を遂行できるよう努めました。定款・労働基準法をはじめとする法令遵守を徹底するとともに、請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実に遂行しました。予算の執行にあたっては、人員配置・水道光熱費等すべてにおいて無駄を省き経費節減に努めました。

今年度は電話・複合機・パソコン・サーバーをアクア棟の開設に合わせ入れ替えました。システム担当を中心に業者の選定、決定業者とのたび重なる打ち合わせ、下準備を繰り返しました。平日昼間の入れ替え作業は業務への影響を最小限にと配慮しながら日程を調整し実行しましたが想定外のことも多々発生し正常に稼働するまで日数がかかりました。一番館と二番館がVPN(バーチャルプライベートネットワーク)でつながり業務の効率は格段に上がりました。またVPNにより一番館と二番館の間の通話料が発生せず経費節減にもなっています。二番館開設を機に一番館の代表電話番号とFAX番号も変更しました。

また2009年制定の「ぐるーぷ藤キャリアパス」を全面的に見直しました。見直しに当たっては、入会間もないスタッフから管理者まで現状のスタッフ層の

職務内容を明確にした上で必要な資格・経験を盛り込み、能力をフォローアップするための研修項目も加えました。3回の臨時運営会議で活発な議論を重ね、藤らしいキャリアパスを制定しました。

### 3-1 会員（メンバー）と福利厚生

メンバーの紹介により福祉のまちづくりの理念に賛同する仲間が15名増えました。一方で今年度は自ら卒業として退会する者が1名おりました。3月末で会員は141名となりました。各々の資格や能力を生かして皆がやりがいをもって働ける多様な職場づくりをめざし、自己実現の場をつくりました。

福利厚生の充実にも努め、有給休暇取得はさらに増え、対象者の92%が取得しました。感染症で欠勤するメンバーの休業補償や健康診断受診が定着してきました。常勤の有給休暇消化後の欠勤の扱いや共に働くメンバーへの公平性を話し合い年間契約労働時間の設定など来年度にむけての審議を行いました。

恒例の交流会では、7月に横浜八景島シーパラダイスに行き水族館と海のバーベキューを楽しみました。9月には大山巡りバスツアーで阿夫利神社で運氣を上げ、大山豆腐料理を堪能し心身ともリフレッシュをしてきました。二番館・アクア棟で行った初の新年会では恒例のゲームと息の合った交流委員によるファッションショーで大いに盛り上がりました。いずれも親睦をおおいに深めた交流会となりました。

#### 福祉関連有資格者（2017年3月現在・重複あり）

ホームヘルパー	1級：	4名
	2級：	93名
初任者研修修了者		4名
同行援護従事者		2名
行動援護従事者		12名
同行援護サービス提供責任者		3名
ガイドヘルパー		27名
認定特定行為業務従事者		6名
介護福祉士		63名
保健師		1名
看護師		7名
柔道整復師		1名
介護支援専門員		10名
障がい相談支援従事者		6名
精神保健福祉士		3名
社会福祉士		3名
社会福祉主事		4名

福祉住環境コーディネーター	2名
認知症ケア専門士	1名
学習療法士1級	2名
管理栄養士	1名
栄養士	5名
調理師	6名
食品衛生責任者	8名
キャラバンメイト	3名
普通救命講習Ⅰ修了者	117名
シニア・インストラクター	3名

### 3-2 広報活動

年4回発行している広報誌「花どけい」は毎号特集記事を組み、ぐる一ふ藤の組織体制や事業の紹介を通じて藤の福祉のまちづくりビジョンを発信しました。特にサービス付き高齢者向け住宅や超音波流水プールの紹介、地域の防災拠点としての二番館等について特集で掲載しました。入居をご希望の方には詳しい資料とともにお渡ししました。「花どけい」は他団体からの関心も高く見学者や訪問者には資料として活用し、講演や訪問先ではぐる一ふ藤の紹介に役立っています。

またNPO法人湘南メディアネットワークに依頼し二番館の建設過程を映像に残すために工事現場で定点撮影を続け、地鎮祭等のイベントも撮影しました。並行して「ぐる一ふ藤25周年」を記念してこれまでを振り返る作業を進めました。歴代理事長のインタビューや古い資料、夏祭りに出店した様子やどんぐり園の子どもたちとの交流等も撮影しました。共に貴重な資料としてDVDを制作しました。

今年度から始まった藤沢市の「Aヘルパー養成研修」や二番館、「ヨロシク♪まるだい」「こども♪まるだい」のイベント用チラシやポスター作成にも力を入れました。

「ヨロシク♪まるだい」は全国から注目され講師依頼も増え続けています。見学や取材は一番館のみならず「ヨロシク♪まるだい」の希望者も多く、見学の方にはランチも召し上がっていただき「オハナ」、「まるだい食堂」ともに絶賛されています。

### 3-3 諸団体での役割

- ・認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 常務理事
- ・一般社団法人市民福祉支援協議会 代表理事
- ・民間介護事業推進委員会 委員

- ・ 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 委員
- ・ 藤沢市市民活動推進委員会 委員
- ・ 藤沢市住まいと暮らし連絡会 委員
- ・ 藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会 委員
- ・ NPO法人昴の会 理事
- ・ ふじさわ福祉NPO連絡会 代表

#### 4. 研修プロジェクト

ご利用者のニーズに的確に対応するために『理念と意思の共有』『スキルアップ』『新しい介護』を学びの3本柱とし、系統的な研修を組み立てました。

理念の共有と継承のための「理事長と語る会」は5回97名の参加を得ました。藤の生い立ち、藤の理念を再確認するとともに藤の未来図を共有することでメンバーの士気が上がりました。

スキルアップ研修は全6回開催し昨年同様100名以上のメンバーが参加しました。田川和子先生の研修は3回目になり訪問介護を中心とした内容に多くのメンバーが集まりました。

三重大学准教授竹内佐智恵先生の第24回介護講座は、実習と座学でボディメカニクスの再確認と新しい介護の習得で有意義な研修になりました。公開医療講座は今年度は「ヨロシク♪まるだい」で行い、三井記念病院登録医ことぶき耳鼻咽喉科の立岡英宏Drに「高齢者の聴覚について」のお話をいただきました。外部の方の参加が多く活気ある場になりました。恒例の救命救急講習会は二番館・アクア棟で行い普通救命講習I修了者は23名になりました。

世界情勢の不安により休止していたトップリーダー海外研修として市民協主催のノルウェー福祉研修に3名参加しました。福祉先進国の高福祉制度社会を学びました。

今年度も、内部、外部を合わせて193回の研修がありました。昨年より引き続き、個人研修シートの改善は全部門で形式を統一し会員の基本情報・研修履歴・目標等の項目を事務局が一括管理するシステムを作りました。

#### 5. 二番館建設委員会

念願であった「二番館・アクア棟」と「二番館・柄沢」の建設に向けて、神奈川県への登録申請と国土交通省への補助金申請を行いました。4月に厳粛な雰囲気の中地鎮祭を執り行い、5月から建築・設計・工事関係等の定例会を持ち、他の関係業者やカラーコーディネーターの木村先生との細部にわたる色決め等度重なる話し合いを行いました。9月にアクア棟の上棟式を行い、12月に「藤の花」「マハロ」「ケアマネジメント」「計画サポート」が移転し、1月に「菜の花」が新規開所し、「二番館・アクア棟」として事業を展開することができました。

また、アクア棟に新規事業としてスタートする「アクアデイ菜の花」は、藤沢市の総合事業の開始と重なった為、市との事前相談から始まり、さまざまな申請を行いました。さらに県への申請は、新規でかつ年々書類審査が厳しさを増す中、各専門の方々の協力を得て行い1月4日から開始しました。

アクア棟完成後「二番館建設委員会」から「二番館検討委員会」と名を改め、「サービス付き高齢者向け住宅」の運営について検討を始めました。

## 6. 安全衛生委員会

安全に安心して働ける職場環境の維持に努め、産業医のアドバイスも受けながら会員の健康保持にも務めました。衛生管理者による食中毒・感染症(ノロウイルス、インフルエンザ)の予防研修も実施しました。またご利用者・ご家族にはノロウイルス、インフルエンザが蔓延する前に、予防法や罹患した場合について手紙により注意を促しました。

今年度はセルフケアの更なる充実化および働きやすい職場環境の形成を目的に「ストレスチェック」を行いました。ストレスチェック制度は2015年12月1日施行の改正労働安全衛生法により、50名以上の従業員の事業所では実施・報告することが義務づけられました。チェックは「職業性ストレス簡易調査票」を用い個人が特定できないように配慮し厳重な管理の下実施しました。

## 7. 防災委員会

各部門からの代表者7名と理事長とで構成された防災委員会は、昨年引き続き今年度は6回の委員会と3回の屋外活動を行いました。

会議では災害の種別を火災・地震・水害等・防犯に分けて、また夜間と昼間では体制に差があることなども考慮し検討を重ねました。災害時の連絡体制、法人全体の役割分担表、行動マニュアル、駆け付けマップ、防災備品や備蓄食料の見直し等を行い、少しずつ藤全体としての防災体制が形になってきました。2015年度に藤沢市と災害時における障がい者の緊急受け入れに関する協定を締結したことにより一定の備品は整っていましたが、必要数量を算出して過不足分を確認しリスト化していくことができました。

会議以外では実際に発電機の作動訓練を各部門研修で行い、備品のチェックや備蓄食料の更新のための試食を行いました。また村岡地区の防災訓練に委員会全体で参加し、様々な防災に関するノウハウ、炊き出しの方法などを学びました。

保管場所等の準備や、備品の購入・更新、定期的な防災訓練は来年度の課題として確認しています。二番館の完全稼働に伴い一番館・まるだい・本藤沢とともにさらに防災体制の充実が必要です。

## 8. 役員報酬検討委員会

前回は2011年度に設置され5年ぶりの設置となりました。今後は新しく会長・専務理事を置くことが決まり、理事長・常務理事を加えた四名の役員の報酬を法人内部職員6名と法人外部2名の計8名で検討しました。外部の方に参加いただくことにより、事業高に対する役員報酬の割合から算出するという新しい考え方を採用しました。2人の役員が増えることによる会長、理事長、専務理事、常務理事の職務内容等を考査し、それぞれの責務に合わせて報酬を答申しました。付帯意見として、第一に二番館が開所し三番館が計画されるようになり、現段階でも多くなっている取材等広報の仕事を担当する広報室の設置が必要である。第二に理事長の仕事量が膨大となっており、会長及び理事長の仕事量を調整するために秘書役が必要である。第三に今後法人全体の仕事量が増加することが必至であり、スムーズな事業運営のためには業務分担による役職者の増員が必要である。以上三点を書き添えました。

## 9. 外部活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、山王町内会、柄沢町内会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行いました。地域で地道な活動をするNPOや障がい者団体等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援してきました。

今年度も被災地支援の一環として東北応援ツアーに参加しました。現地のNPOの仲間が頑張っていて意欲的に事業を展開している姿に感銘を受け、逆に勇気ももらいました。これからもできる形で応援していきたいと考えています。

ふじさわ福祉NPO連絡会は毎月開催し議長を務めました。今年度は、10月から始まった藤沢型方式の生活支援総合事業に対応するため、市の委託を受け「サービスAヘルパー担い手養成研修」を受け持ち、NPOにふさわしい講義内容と行政側による専門的基礎知識を習得できる内容で好評を博しました。

また、市民協を代表し民間介護事業推進委員会の委員を務めました。さらに一般社団法人市民福祉支援協議会の代表としてシニアを対象とした安心の生活サポートとして、「あんサポ」「くらサポ」のしくみを作り上げました。さらに各種講師等の機会を通して、ぐる一ふ藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行ってきました。

※市民協：認定NPO法人市民福祉団体全国協議会



#### ◇講師

- ・ 05/17 「地域デビュー私の場合」(江戸川人生大学)
- ・ 06/19 「地域フォーラム」(ワーコレ 「実結」)
- ・ 06/24-25 「生活支援サポーター養成研修」(長久手市)
- ・ 07/20 「吹田市視察における講師」(藤沢市)
- ・ 07/29 「これからの住まいと生活」(NPO 法人昴の会)
- ・ 08/23、24、29 「訪問型サービス A ヘルパー研修」(藤沢市)
- ・ 10/25、27、31 「訪問型サービス A ヘルパー研修」(藤沢市)
- ・ 11/14、16、18、22、24 「訪問型サービス A ヘルパー研修」(藤沢市)
- ・ 12/05 「地域連携と都市再生」(横浜国立大学)
- ・ 02/17 「これからの在宅生活」(藤沢病院)
- ・ 02/18-19 「市民協フォーラム in 福島」(市民協福島)
- ・ 02/27-28 「シニアインストラクター養成講座」(浦和 CWC)
- ・ 03/04 「コミュニティビジネス事例発表会」
- ・ 03/04 「私たちのつながり方」(えぽめいく)
- ・ 03/15 「トップリーダー研修」(認定 NPO 法人ぐるーぷ藤)

#### ◇被災地訪問

- ・ 「花見山公園花見ツアー」 4/9-4/10
- ・ 「福島県居住支援協議会」 11/22
- ・ 「福島県居住支援協議会及び被災地訪問」 12/10-12

#### ◇取材、見学等

- ・ 取 材 : シルバー産業新聞社 シニア情報センター 株式会社法研  
NPO 法人シニア住まい塾 株式会社芳林社  
社会福祉法人社会福祉協議会 メディナス
- ・ 見 学 : 一番館 : 10件 49人  
: ヨロシク♪まるだい : 20件 67人
- ・ 新聞等掲載 : 「シルバー産業新聞 6月10日」「月間介護保険 第247号」  
「シニア住まい塾通信 第57号」「Better Care 2017 冬号」  
「子ども・若者の居場所づくりガイド 2017年3月」

## 第2号議案

### 2016年度決算報告書及び監査報告

2016年度 活動計算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

NPO法人ぐるーぶ藤

(税込、単位：円)

科 目	金	額
I 経常収益		
1 受取会費		
藤会員年会費等収入	24,000	
さわ会員年会費等収入	35,000	
賛助会員年会費等収入	20,000	79,000
2 受取寄付金		
寄付金収入		2,104,000
3 受取助成金等		
助成金・補助金収入	5,400,000	
委託金収入	7,400,600	12,800,600
4 事業収益		
事業収入		345,232,091
5 その他収益		
受取利息	693	
雑収入	3,811,930	3,812,623
経常収益 計		364,028,314
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	203,587,804	
賞与	14,026,427	
有償ボランティア	2,866,088	
通勤交通費	2,165,530	
法定福利費	25,670,559	
福利厚生費	134,507	
人件費 計	248,450,915	
(2) その他経費		
販売物品費	542,538	
諸謝金	16,980	
食材費	15,111,573	
印刷製本書籍費	880,837	
会議・研修費	211,823	
旅費交通費	1,128,780	
車両燃料費	599,265	
通信費	1,395,424	
消耗品費	5,969,578	
修繕費	224,817	
水道光熱費	9,164,773	
家賃支出	11,310,249	
賃借料	3,408,293	
減価償却費	15,917,253	
生活支援CD事業費	2,258,700	
保険料	471,039	
租税公課	3,761,727	
街づくり対策費	465,080	
被災地支援費	68,400	
支払利息	8,608,946	
管理諸費	647,560	
雑費	613,242	
その他経費 計	82,776,877	
事業費 計		331,227,792

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当等	3,172,938		
賞与	242,573		
有償ボランティア	332,315		
退職金	50,000		
通勤交通費	370,360		
法定福利費	443,946		
福利厚生費	2,534,628		
人件費 計	7,146,760		
(2) その他経費			
印刷製本書籍費	676,023		
会議費	583,092		
旅費交通費	511,921		
販売物品費	923,714		
通信費	667,409		
消耗品費	542,599		
修繕費	285,117		
水道光熱費	924,565		
賃借料	6,682,474		
研修費	2,013,533		
交際費	155,584		
保険料	5,513,088		
租税公課	28,323		
管理諸費	2,856,986		
寄附金支出	10,000		
雑費	1,488,552		
その他経費 計	23,862,980		
管理費 計		31,009,740	
経常費用 計			362,237,532
当期経常増減額			1,790,782
III 経常外収益			
経常外収益 計			0
IV 経常外費用			
1 固定資産除却損		22,551,553	
経常外費用 計			22,551,553
税引前当期正味財増減額			-20,760,771
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			-20,830,771
前期繰越正味財産額			159,510,525
次期繰越正味財産額			138,679,754

2016年度 貸借対照表

2017年3月31日現在

NPO法人ぐるーぷ藤

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	1,238,804	
小口現金	1,015,000	
普通預金	220,481,855	
貯蔵品	1,033,148	
未収金	49,298,250	
前払金	14,582,405	
流動資産合計		287,649,462
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	263,542,398	
建物附属設備	10,053,513	
構築物	15,184,167	
車両運搬具	2,558,476	
什器備品	1,880,657	
土地	166,519,448	
建設仮勘定	655,808,173	
有形固定資産合計	1,115,546,832	
(2) 無形固定資産		
電話加入権	180,600	
ソフトウェア	85,010	
無形固定資産合計	265,610	
(3) 投資その他の資産		
敷金	1,599,000	
保証金	60,000	
投資その他の資産合計	1,659,000	
固定資産合計		1,117,471,442
3 繰延資産		
繰延資産	1,209,600	
二番館開設準備金	11,417,250	
繰延資産合計	12,626,850	
資産合計		1,417,747,754
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	22,739,983	
前受金	61,341,676	
預り金	356,582	
預り保証金等	13,058,000	
仮受金	8,759	
流動負債合計		97,505,000
2 固定負債		
長期借入金	982,563,000	
擬似私募債	199,000,000	
固定負債合計		1,181,563,000
負債合計		1,279,068,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		159,510,525
当期正味財産増減額		-20,830,771
正味財産合計		138,679,754
負債及び正味財産合計		1,417,747,754

(注)

- ・ 財務諸表の作成はNPO会計基準(2010.7.20 2011.11.20一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
- ・ 消費税等は税込経理により処理しています。

## 2016年度 財産目録

2017年3月31日 現在

NPO法人 ぐるーぷ藤

(単位：円)

科 目		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	現金手許有高	1,238,804	
小口現金		1,015,000	
普通預金	7口座	220,481,855	
未収金	国保連未収金	38,157,819	
	利用者未収金	8,991,431	
	その他未収金	2,149,000	
貯蔵品	販売物品	348,195	
	食材	250,214	
	会員用消耗品	434,739	
前払金	前払保険料	11,607,314	
	前払いその他	2,975,091	
流動資産合計			287,649,462
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 有形固定資産</b>			
土地	一番館 藤が岡	166,519,448	
建物	一番館 藤が岡	263,542,398	
	二番館 柄沢	0	
建物附属設備	一番館 藤が岡	10,053,513	
	二番館 柄沢		
構築物	一番館 藤が岡	184,167	
	二番館 柄沢	15,000,000	
車両運搬具	一番館 藤が岡	4	
	二番館 柄沢	2,558,472	
什器備品	一番館 藤が岡	1,880,657	
	二番館 柄沢		
建設仮勘定	二番館建設費用	655,808,173	
有形固定資産合計		1,115,546,832	
<b>(2) 無形固定資産</b>			
電話加入権		180,600	
ソフトウェア	会計ソフト	85,010	
無形固定資産合計		265,610	
<b>(3) 投資その他の資産</b>			
敷金	藤が岡 駐車場3台ほか	1,599,000	
保証金	セコムAED等	60,000	
投資その他の資産合計		1,659,000	
固定資産合計			1,117,471,442
<b>3 繰延資産</b>			
繰延資産	まるだい開業準備費等	1,209,600	
二番館開設準備金		11,417,250	
繰延資産合計			12,626,850
資産合計			1,417,747,754
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	従業員給料	20,221,233	
	諸経費等	2,518,750	
前受金	高齢者住宅入居金等	28,341,676	
	サ高住補助金	33,000,000	
預り金	社会保険料	356,582	
預かり保証金	高齢者住宅敷金等	11,100,000	
	グループホーム敷金	1,958,000	
仮受金	レストランオハナ食事券等	8,759	
流動負債合計			97,505,000
<b>2 固定負債</b>			
長期借入金	横浜銀行設備資金借入	982,563,000	
擬似私募債	一番館・藤が岡	99,500,000	
	二番館・柄沢	99,500,000	
固定負債合計		1,181,563,000	
負債合計			1,279,068,000
正味財産			138,679,754

# 監 査 報 告 書

NPO法人ぐるーぶ藤  
理事長 鷺尾 公子殿

下記の通り監査をいたしましたので、ご報告いたします。

## 記

- ・ 監査実施日 2017年5月25日
- ・ 立 会 人 理事長 鷺尾 公子、事務局長 吉村 さえ子、経理主任 佐藤 由実
- ・ 監査対象期間 2016年4月1日～2017年3月31日
- ・ 監 査 方 法 実査及び立会人からの聞き取り

### 1. 会計監査

- ・ 諸伝票、預金通帳、現金、証憑書類並びに活動計算書、貸借対照表及び財産目録などについて実査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

### 2. 業務監査

理事長 鷺尾公子氏から2016年度事業に関する概要説明を受け、当該事業計画に沿って監査を実施しました。

- ・ 一番館の開設から10年、2016年4月に建設に着手した二番館は、防災拠点としての機能も持ち、12月に「アクア棟」が完成して一部事業が移転し「アクアデイ菜の花」が新規オープンしたことを高く評価いたします。「超音波流水プール」設置による効果、また、サービス付高齢者向け住宅「二番館・柄沢」については17年度に期待します。
- ・ 地域の居場所として定着し全国から注目を集めている「ヨロシク・まるだい」に続き子どもの生活支援事業を受託し「こども・まるだい」がスタートしたことは、NPOとして藤がやるべき地域支援事業が充実した表れと評価します。
- ・ 「しがらきの湯」が、昨年度に続き医療機関からの信頼を得て著しい事業高をあげていることを評価いたします。
- ・ 理事長が市民福祉団体全国協議会の常務理事として、また市民福祉支援協議会の代表として精力的に活動されていることが「藤」の高い評価にも繋がっているものと敬意を表します。

2017年5月25日

監事 小野 淑子



監事 藤澤 抱一



# 報告

## 2017年度事業計画

### I. 事業方針

#### (1) 基本方針

年老いても、障がいがあっても、病気になっても安心して暮らせる地域社会をつくるため、特定非営利活動法人として社会的責任を果たすとともに、市民相互の助け合いのまちづくりをめざします。

#### (2) 運営方針

##### 1. 組織運営

認定NPO法人ぐるーぷ藤は、趣旨書および定款にもとづき事業を行います。理事会の議決を経て事業と活動の方針について討議する運営会議を月1～3回行います。そこでまとめられた提案事項について毎月開かれる部門代表会議で検討し、その後全メンバーを対象に運営報告会を開催し活動を共有します。また、それぞれの部門会議において会員の意見交換を行いその内容を事業活動に反映させる等民主的な運営をめざします。

昨年度は、従来の会員の紹介による入会だけではなく二番館建設の様子を見て働きたいという方々の新しい仲間を迎えることができました。新メンバーには5部門での約20時間の新人研修を通して藤の事業を理解してもらうよう努めています。またそれぞれの部門において初任者研修・介護福祉士・調理師等の資格取得を目標に活動するよう引き続き働きかけます。

創設の理念を共有し継承することを大切にして、多様な働き方を実践していきます。ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することをすすめます。部門間の連携を密にし組織力を強め、スタッフのスキルアップにも一層力を入れます。

今年度は一番館・二番館運営により見えてきたニーズに対応するため三番館建設の検討を始めます。

## 2. 事業・活動部門

### 2-1 訪問介護（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

ご利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えます。

本来事業では「ワンコイン」の子育て支援、保険外サービス、緊急時の対応、ご家族の介護負担軽減等様々なニーズに応え藤らしいサービスを行います。介護保険事業では、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと連携して、ご利用者の生活を大切に考え地域で安心して生活をしていただけるように支援を行っていきます。障がい者総合支援事業では、模索しながらも様々な障がいのご利用者の依頼に寄り添っていきます。

今年度も研修・会議等で対人援助の基本の確認を行い、きめ細かい介護力の向上につとめます。また、多職種と連携を図りながら多様な利用依頼に出来る限り応え、必要な時に必要な支援を提供できるように努力します。

### 2-2 通所介護（アクアデイ菜の花）

昨年度オープンしたアクアデイ菜の花は超音波流水プールを中心に機能訓練型デイサービスとして事業対象の方から麻痺のある要介護の方まで様々な方を支援します。

事業所理念を「Active（アクティブ）・Crew（クルー）・Adventure pool（アドベンチャープール）」＝「アクティブな仲間をプールで増やそう！」に定め元気な藤沢を作ります。

機能訓練指導士がご利用者の身体状況を細かくアセスメントして個別機能訓練を重視したプログラムを計画します。定評のあるプレミアムジム・セラバンドで可動域運動、デュアルタスクトレーニングとして神奈川県推奨のコグニサイズ、大人気の和太鼓を行います。

超音波流水プールを利用することで身体状況の維持だけではなく向上をめざし、介護度の軽度化につながるようスタッフ一丸となって邁進します。

### 2-3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

2018年の医療・介護のダブル改定、地域包括ケアシステムなどケアマネジャーの専門性がますます問われています。毎月の研修やミーティング・ミニ週会を通してアセスメント、モニタリング、地域連携能力向上を図るための専門的な知識や技術の習得を積極的に心がけます。

公正中立なケアマネジメントをめざし、ご利用者の状態にあったサービスにつなげていきます。増加する独居や認知症の高齢者に対しては地域包括支援センターや民生委員をはじめ多職種との連携を密にして、社会で孤立しないように支援します。

ご利用者の「住み慣れた家で安心して暮らしたい」という思いを大切に、介護保険



や地域資源を活用し包括的なケアマネジメントを行います。

#### 2-4 小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤 藤の花）

在宅生活を基本に「通い・泊り・訪問」を組み合わせたサービスでご利用者とご家族がいきいきと毎日を送れるように支援します。ご利用者の個性を大切に、集団でも自分らしく過ごせる環境作りと一人ひとりの意向を尊重した対応を行います。スタッフがご利用者に寄り添い、安心安全で「笑い・喜び・望み」ある生活の継続に努めます。

アクアデイ菜の花のプールを利用したり、玄米にぎにぎ体操や音楽療法、太極拳等多くのボランティアの方々にもお手伝いいただきながら、機能の維持向上を図ります。

12月に移転した柄沢では、防災拠点であると同時に、地域に開かれた福祉施設となるよう設備の充実や交流に力を入れていきます。

前年度より開始したスタッフの藤の花独自研修は、今年度も継続しスキルアップに努めます。また、内部・外部研修に多くのスタッフが参加できるよう体制を整え自己研鑽を怠らないようにします。

#### 2-5 看護小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯）

医療ニーズの高い方や退院後の療養生活を送る方々が安心して在宅で暮らせるよう、「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」「ケアプラン」のサービスを一体化し、在宅の受け皿としてトータルケアを行っていきます。住み慣れた家や地域で最期まで自分らしい生活を続けたいという、ご利用者やご家族の思いに寄り添い一人ひとりに合わせ柔軟な支援をします。

居心地の良い環境をつくり、コミュニケーションを通しそれぞれの方の笑い・喜び・希望を引き出し身体的、精神的なサポートを行います。また、自治会やボランティアの協力を得て外出の機会を多く持ち、地域との交流を図り社会とのつながりを大事にしていきます。

安心してご利用いただけるように、認知症や疾患の理解等独自の研修を行いさらなるスキルアップを目指します。介護・医療の連携を深めるとともに、運営推進会議などを活用し藤沢市、民生委員、地域包括支援センター等と情報交換を密にし包括的なサポートを行います。

#### 2-6 障がい者グループホーム（藤が岡の家・本藤沢の家）

ゆるやかなもう一つの家族として安心できる生活を支援していきます。日常生活の中での困り事、日中活動先での問題等自ら解決する力を引き出せるよう支援を行っていきます。また障がいサービスだけでなく多種の事業を行っている法人として、利用者と一般のスタッフがお互いに理解し合いながら共に働き、

希望を実現する場も提供していきます。

どちらも藤沢市内で特徴的なグループホームとして積極的にボランティアや見学者を受け入れます。

#### ◇藤が岡の家

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、日常生活をサポートすると共に、法人内の他部門との協働や、地元自治会のお祭り、防災訓練に参加するなど、地域での役割の一端を担っていきます。徐々に高齢化による問題が出てきていますが、看護師始め他のスタッフの温かい声かけや見守りを通して、病状の変化に機敏に対応し安定して生活が継続できるよう支援します。

#### ◇本藤沢の家

自立したアパート暮らしにより近い形で支援を受けながら、安心して暮らせるグループホームという特徴を生かし、毎日の夕食提供を中心にさまざまな活動を行います。個々の利用者の状況に合わせて就労先、日中支援事業所、医療等と連携しながら一人ひとりの生活力を高めて、それぞれの自立に向けてサポートします。

### 2-7 障がい者相談支援事業（計画サポートぐるーぷ藤）

障がいがある方やそのご家族の相談にのることで、その方なりの問題解決の方向性を共に探り、ご自身の意思決定を尊重して望む生活に近づけるよう寄り添っていきます。

法人内に精神障がいのグループホームを持つという特色を生かし、主として精神障がいの者のサポートを行います。さまざまなサービスや地域資源を連動させ、また法人内の他部門との連携を図りながら、多種多様なニーズに対応できるよう相談支援専門員のスキルアップに力をいれていきます。

藤沢市ではまだセルフプランの方が多くなか、出来る限り多くの依頼に対応したいと考えていますが、まずは一つひとつのケースに丁寧に対応することを大切にしていきます。また制度上の課題や共通する問題については改善に向けて連絡会等で積極的に意見提案していきます。

### 2-8 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

「終の棲家」としてお住まいの方にその方らしく心豊かに暮らしていただき最期までご家族と、共に寄り添うように努めます。qhgvg（満たされなければいけないもの）に応じて介護保険による看護小規模多機能型居宅介護、小規模多機能型居宅介護、ホームヘルプ、デイサービスなどを利用し、生活の質を維持できるよう支援します。看護師による個別相談を充実させ、訪問診療、訪問歯科・歯科衛生士による口腔管理、眼科検診等を通し主治医とコミュニケーションを密にして体調管理も行います。また、暮らしの中で心の充実を図るために

お一人おひとりの、z dqw（望み、要求）を知り気持ち望みを叶えられる機会を提案していきます。

一番館は 11 年目を迎えます。「おもてなしの心」を基本としスタッフ一同、初心に返り、知識・技術の習得に努め、もう一つの家族としての役割を担えるよう意識を高めます。

#### 2-9 サービス付き高齢者向け住宅（ぐるーぷ藤二番館）

今年度5月に、念願であったサービス付き高齢者向け住宅「ぐるーぷ藤二番館・柄沢」がオープンしました。介護資格を保有しているコンシェルジュによる入居者への安否確認、生活相談サービス、夜間緊急通報システム、夜間常駐する管理人の配置等サ高住として安心の住まいを提供します。

また、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護、通所介護、障がい者計画相談支援等が併設されていて必要な時に必要なサービスを提供します。さらに飲料にもできる良質な井戸水の完備、災害に強いプロパンガスの設備やソーラーシステム、井戸水を利用した防災用トイレ、緊急時に利用できるログハウス等入居者や近隣の方々の防災拠点としてNPOらしい安心を支える福祉施設をめざします。

#### 2-10 厨房及びレストラン（オハナ）

厨房では管理栄養士・調理師を配置し、一番館にお住まいの方やしがらきの湯をご利用の方に、安全で栄養バランス豊富な料理を提供できるよう随時研修を行っていきます。高齢者の方が『食』を通じ生活が豊かになるよう努力します。

レストラン「オハナ」は、地域の方や利用者の皆様と楽しい会話と美味しい料理を提供できるよう努力します。昨年好評だった季節限定のメニューも引き続き開発していきます。

今年度もグループホーム「本藤沢の家」の夕食作りを行い、世代の違うご利用者の誰もが美味しく食べられる献立作りをします。

#### 2-11 レストランマハロ

「ぐるーぷ藤二番館・アクア棟」に昨年12月に開設され、「ぐるーぷ藤 藤の花」の食事を提供してきました。5月にサービス付き高齢者向け住宅がオープンし、お住まいの方々の食堂としても機能していきます。二番館・柄沢にお住まいの方々に美味しく安全な料理を提供できるように努めるとともに、介護保険施設である「藤の花」の厨房として介護食・減塩食等にも対応し、多様なニーズに応えていきます。

## 2-12 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・保健師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャー等が常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に応じ近隣の安心を支えます。長年地域において福祉活動をしてきた経験を生かし、緊急のSOSに24時間対応するとともに、必要に応じて弁護士・民生委員・地域包括支援センター・地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」・「こども♪まるだい」等に橋渡しをするNPO版地域包括支援センターの役割を担います。

これからも「福祉のまちづくり」をめざす一環として、相談者に向き合いながら丁寧に対応します。

## 2-13 地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）

「ヨロシク♪まるだい」では、300円の食事を中心に地域の方々が気軽に立ち寄れる通いの場・居場所を提供していきます。ここは、年齢、障がいに関係なくスタッフとして働く場でもあります。

ご利用者からの相談対応・資源開発・ニーズと取り組みのマッチング・ネットワーク構築等の活動を担う生活支援コーディネーターは、地域包括支援センターや地区社協、民生委員、自治会、他の縁側事業者とも相互に協力し合い緩やかな連携を行います。定例になった「終活セミナー」「認知症サポーター養成講座」に加え、地域の中で顔の見える関係作りの為に「おしゃべり会」を定期的に行い、そこからニーズを把握し担い手作りに繋がるようにしていきます。

## 2-14 子供の生活支援事業（こども♪まるだい）

地域の温かい環境の中で対象の子どもたちに、基本的な生活習慣を身につけられるような居場所を提供します。食事やおやつを皆で食べることで、成長に必要な栄養を補うとともに、精神的な満足も得られるように支援していきます。学生ボランティアと一緒に宿題や予習復習を行うことで、学習習慣の定着を働きかけます。子どもが主役の様々なイベントを通し、地域とのつながりを子どもたち自身が感じられ、地域で健やかに成長できるよう支援します。

## 3. 管理部門

ぐる一ぱ藤総体の事務局として管理運営に責任をもち効率的に業務を遂行できるよう努めます。各部門の請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実にを行います。予算の執行にあたっては、人員配置・物品管理・水道光熱費すべてにおいて無駄を省き経費節減に配慮します。

また、火災・震災時の予防および安全確保のため、消防計画に基づき年2回防災訓練を行うとともに防災委員会を中心として備蓄品の点検・管理を強化し

ます。

かねてより課題となっていた会員の個人情報・保有資格・受講研修等を正確に把握管理し、今後の会員のキャリアアップに活かします。

行政・他団体をはじめとする各方面からの見学者には希望に応じて一番館・まるだい・二番館にご案内する等きめ細かく対応します。

事業の拡大によって増加する、マイナンバーをはじめとする個人情報の保護にはなお一層配慮しセキュリティーの管理を徹底します。

### 3-1 会員（メンバー）と福利厚生

まちづくりの理念に賛同する仲間を増やします。それぞれのメンバーの資格や能力を生かして、皆がいきいきと働ける多様な職場づくりをめざし自己実現の場をつくります。多くのメンバーが参加し親睦を深められる交流会の開催、有給休暇の取得の推進、スタッフの腰痛予防研修、健康診断、各種食事代補助、休業補償などさらなる福利厚生の充実に努めます。

### 3-2 広報活動

地域に定着してきた広報誌「花どけい」はまちづくりの情報発信の媒体として、ご利用者や見学者に資料として提供するとともに各種講演会資料として有効活用していきます。

「ぐる一ふ藤二番館・柄沢」入居希望者や問い合わせの方に、わかりやすい資料を作成し配布します。またホームページには、藤の活動や情報をタイムリーに紹介し更に内容の充実をはかります。メディアの取材には丁寧に対応します。

## 4. 研修プロジェクト

ご利用者のニーズを的確に把握し柔軟に対応するためには、メンバー一人ひとりに高度なスキルが要求されます。また、日々の業務の中で各メンバーが目標に向かって自己実現を図ることが藤全体の介護の質を高めていくと考え、今年度も『理念と意思の共有』『スキルアップ』『新しい介護』を学びの3本柱として研修プロジェクトを引き続き設置します。

メンバー及び地域社会のニーズに合わせた介護技術や幅広い知識の習得を目的に研修計画を策定するとともに、キャリアパスに対応した体系的・継続的な研修を組み立てていきます。その成果を個人別の研修シートに反映できるようにさらに検討を重ねていきます。

25回を迎える三重大学准教授竹内佐智恵先生の研修、医療公開講座等に加え新たな研修を計画します。トップリーダー養成研修として今年度も海外研

修を実施します。

#### 5. 安全衛生委員会

産業医の協力も得て定期的に委員会を開催し、事業所の職場環境および会員の健康保持について情報の共有化を図ります。昨年度実施の「ストレスチェック」の結果を生かしメンタルヘルス不調を未然に防止するよう努めます。

また熱中症、食中毒、感染症（ノロウイルス、インフルエンザ等）の予防に力を入れます。

#### 6. 防災委員会

昨年度に引き続きぐる一ふ藤全体で防災対策の整備と取り組みを企画検討する目的で、各部門からの代表者を構成員として防災委員会を設置します。

いざという時に実践できるよう一番館・二番館それぞれ全体の防災訓練を年2回行い防災用品の購入、使用方法の確認をします。またリスト化された防災備蓄食料の在庫管理を行ない、計画的な更新を行います。ヨロシク♪まるだいと本藤沢の家でもそれぞれにマニュアルを作り、訓練を行います。

一番館・二番館ともに地域の防災拠点としての役割を担うと共に、二番館に設置される防災用水洗トイレ、井戸の使用等、知識と技術をスタッフとともに実習訓練し地域に役立てます。過去の大規模災害等の教訓を生かし災害についての知識を身につけ、防災意識の向上に努めます。

#### 7. 外部活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、柄沢町内会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行います。今年度も地道な活動をするNPOや地域の団体・行事等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援します。

諸団体での役割は以下の通りです。

- ・ 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 常務理事
- ・ 一般社団法人市民福祉支援協議会 代表理事
- ・ 民間介護事業推進委員会 委員
- ・ 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 委員
- ・ 藤沢市市民活動推進委員会 委員
- ・ 藤沢市住まいと暮らし連絡会 役員
- ・ 藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会 委員
- ・ NPO法人昴の会 理事
- ・ ふじさわ福祉NPO法人連絡会 代表

・ 藤沢市相談支援連絡会 委員

介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った提案をしていきます。さらに各種講師等の機会を通して、ぐる一ふ藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行います。

今年度も被災地支援については現地で必要とされる支援を継続します。

## Ⅱ. 事業内容

### 1) 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 家事、介護、育児等に関する生活支援サービスおよび相談事業

##### ●本来事業

- ① 内 容：高齢者、障がい者などの介護、家事援助および産後、育児等の生活支援および相談
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市およびその近接地域
- ④ 従事者人員：50名
- ⑤ 対 象 者：50名
- ⑥ 事 業 費：¥3,529,960

#### (2) 地域福祉の向上に向けた学習および研修、啓発を図る事業

##### ●介護講座等

- ① 内 容：介護講座
- ② 日 時：6月、7月、11月
- ③ 場 所：ぐるーぷ藤一番館・藤が岡、ヨロシク♪まるだい
- ④ 従事者人員：15名
- ⑤ 対 象 者：藤会員およびさわ会員、地域の方
- ⑥ 研 修 費：¥210,000

#### (3) 介護保険法にもとづく事業

##### ●訪問介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者への訪問介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：50名
- ⑤ 対 象 者：80名
- ⑥ 事 業 費：¥16,592,789



●通所介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者への通所介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：25名
- ⑤ 対 象 者：250名
- ⑥ 事 業 費：¥35,649,595

●居宅介護支援事業

- ① 内 容：介護保険対象者への居宅介護支援サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：6名
- ⑤ 対 象 者：120名
- ⑥ 事 業 費：¥13,906,128

●小規模多機能型居宅介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者に「通い」を中心として「泊まり」「訪問」を組み合わせたサービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：29名（登録定員）
- ⑥ 事 業 費：¥71,745,813

●看護小規模多機能型居宅介護事業

- ① 内 容：医療依存度の高い介護保険対象者に看護を組み合わせた「通い」を中心として「泊まり」「訪問」「訪問看護」の提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：29名（登録定員）
- ⑥ 事 業 費：¥67,793,509

(4) 高齢者・障がい者等に対する居宅介護支援および施設サービス事業

●高齢者住宅

- ① 内 容：高齢者に終の棲家としての住宅及び生活支援サービス提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：21名
- ⑥ 事 業 費：¥54,253,243

●サービス付き高齢者向け住宅

- ① 内 容：高齢者の居住の安定確保、安心を支えるサービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：村岡地区
- ④ 従事者人員：4名
- ⑤ 対 象 者：50名
- ⑥ 事 業 費：¥45,605,345

●居宅介護サービス事業

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者への訪問介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：50名
- ⑤ 対 象 者：65名
- ⑥ 事 業 費：¥21,995,093

●障がい者グループホーム

1. 藤が岡の家

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者へのグループホームの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：6名
- ⑥ 事 業 費：¥11,879,802

## 2. 本藤沢の家

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者へのグループホームの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：善行地区
- ④ 従事者人員：9名
- ⑤ 対 象 者：11名
- ⑥ 事 業 費：¥14,632,776

### ●障がい者相談支援事業

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者への相談支援サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：6名
- ⑤ 対 象 者：40名
- ⑥ 事 業 費：¥997,685

## (5) 安心して住める地域社会の実現に貢献する事業

### ●地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）

- ① 内 容：1.生活支援コーディネーターが中心になり誰もが気軽に立ち寄れる通いの場を提供し、地域資源等と連携しさまざまなニーズの把握に努める（委託事業）  
2.まるだい食堂での食事の提供やミニディ、介護・医療相談等通いの場の運営（補助金事業）
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：20名
- ⑤ 対 象 者：多数
- ⑥ 事 業 費：¥16,931,484

### ●子供の生活支援事業（こども♪まるだい）

- ① 内 容：子供の生活支援事業
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：12名
- ⑤ 対 象 者：20名
- ⑥ 事 業 費：¥5,744,805

(6) レストラン・厨房事業

●レストランオハナ・厨房事業

- ① 内 容：ぐるーぷ藤利用者への食事提供  
一番館で働くスタッフおよび一般の方へのレストラン運営
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：15名
- ⑤ 対 象 者：多数
- ⑥ 事 業 費：¥33,104,731

●レストランマハロ・厨房事業

- ① 内 容：ぐるーぷ藤藤の花利用者、サ高住にお住まいの方への食  
事提供、二番館で働くスタッフへの食事提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：村岡地区
- ④ 従事者人員：10名
- ⑤ 対 象 者：80名
- ⑥ 事 業 費：¥18,235,330

(7) まちづくり活動を行う団体等への支援事業

●まちづくり対策費

- ① 内 容：まちづくり活動を行うNPO法人、障がい者団体等や被災  
地支援活動を行う団体等に対する寄附事業
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域、他被災地等
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：10～15団体
- ⑥ 事 業 費：¥500,000

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

●総合相談窓口

- ① 内 容：福祉・医療に関する相談業務
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：10名
- ⑤ 対 象 者：多数

## 2017年度活動予算書(特定非営利活動に係る事業)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

NPO法人ぐるーぷ藤

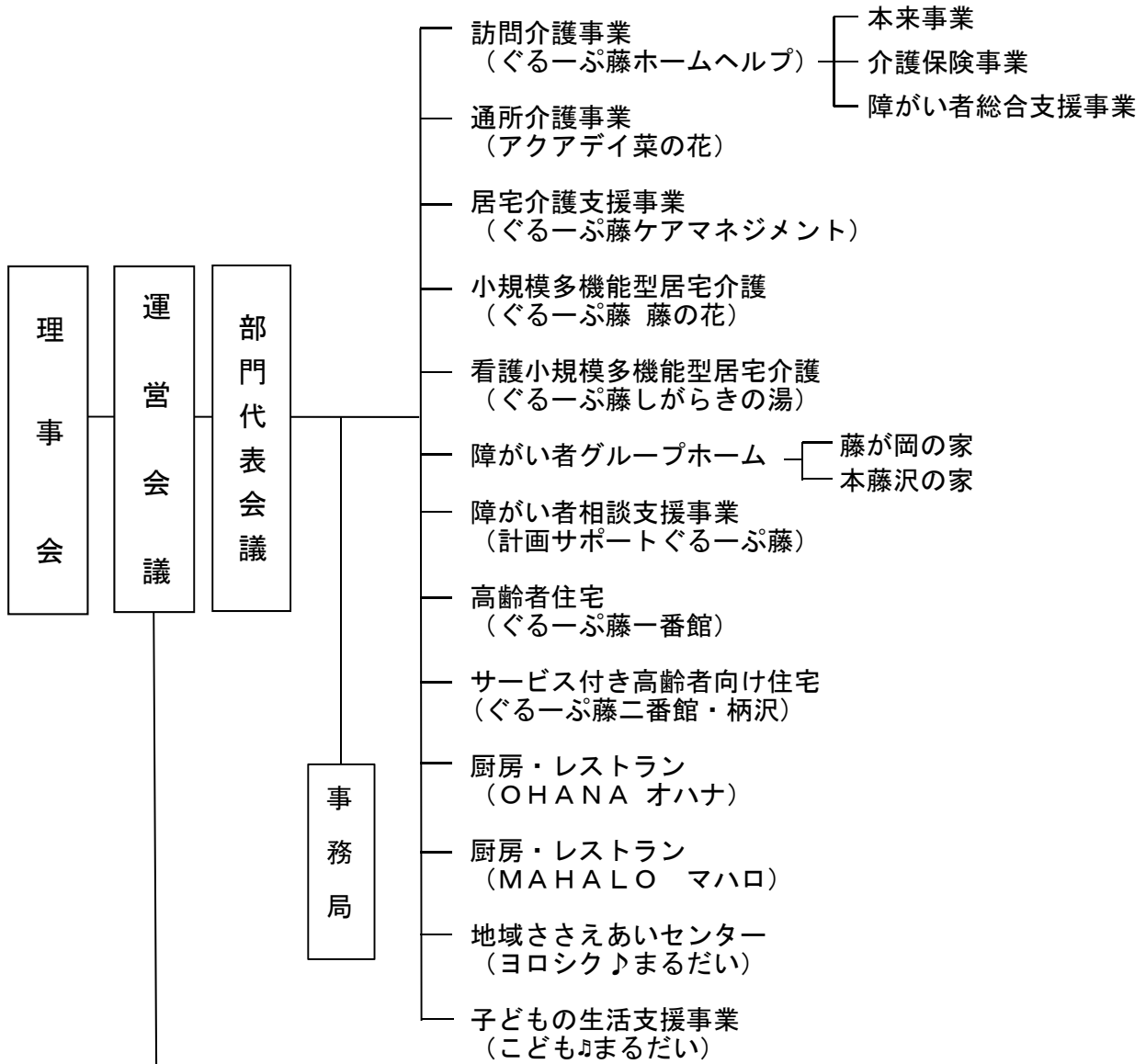
(税込、単位：円)

科	目	金	額
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
	藤会員年会費等収入	15,000	
	さわ会員年会費等収入	90,000	
	賛助会員年会費等収入	15,000	120,000
2 受取寄付金			
	寄付金収入		2,950,000
3 受取助成金等			
	助成金・補助金収入	8,300,000	
	委託金収入	4,346,100	12,646,100
4 事業収益			
	事業収入		451,558,000
5 その他収益			
	受取利息		
	雑収入	3,760,000	3,760,000
	経常収益計		471,034,100
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1) 人件費			
	給料手当等	237,368,220	
	賞与	22,908,000	
	有償ボランティア	3,493,000	
	通勤交通費	2,969,000	
	法定福利費	23,206,800	
	福利厚生費	375,000	
	人件費計	290,320,020	
(2) その他経費			
	販売物品費	576,000	
	諸謝金	20,000	
	食材費	19,525,000	
	印刷製本書籍費	1,010,000	
	会議・研修費	370,000	
	旅費交通費	1,214,000	
	車両燃料費	944,000	
	通信費	1,312,000	
	消耗品費	4,865,000	
	修繕費	790,000	
	水道光熱費	12,721,000	
	家賃支出	12,859,360	
	賃借料	5,416,900	
	減価償却費	38,590,084	
	生活支援CD事業費	2,877,000	
	保険料	968,000	
	租税公課	11,462,320	
	街づくり対策費	500,000	
	被災地支援費	50,000	
	支払利息	23,814,404	
	管理諸費	867,000	
	雑費	2,026,000	
	その他経費計	142,778,068	
	事業費計		433,098,088

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当等	3,240,000		
有償ボランティア	360,000		
通勤交通費	522,000		
福利厚生費	2,520,000		
人件費計	6,642,000		
(2) その他経費			
印刷製本書籍費	460,000		
会議費	538,000		
旅費交通費	454,000		
販売物品費	960,000		
通信費	734,000		
消耗品費	503,000		
修繕費	2,440,000		
水道光熱費	938,000		
賃借料	7,056,400		
研修費	1,814,000		
交際費	380,000		
保険料	5,861,770		
租税公課	126,060		
管理諸費	4,020,000		
雑費	4,760,000		
その他経費計	31,045,230		
管理費計		37,687,230	
経常費用計			470,785,318
当期経常増減額			248,782
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 固定資産除却損			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			248,782
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			178,782
前期繰越正味財産額			159,808,827
次期繰越正味財産額			159,987,609

資料

2017年度ぐるーぷ藤組織図

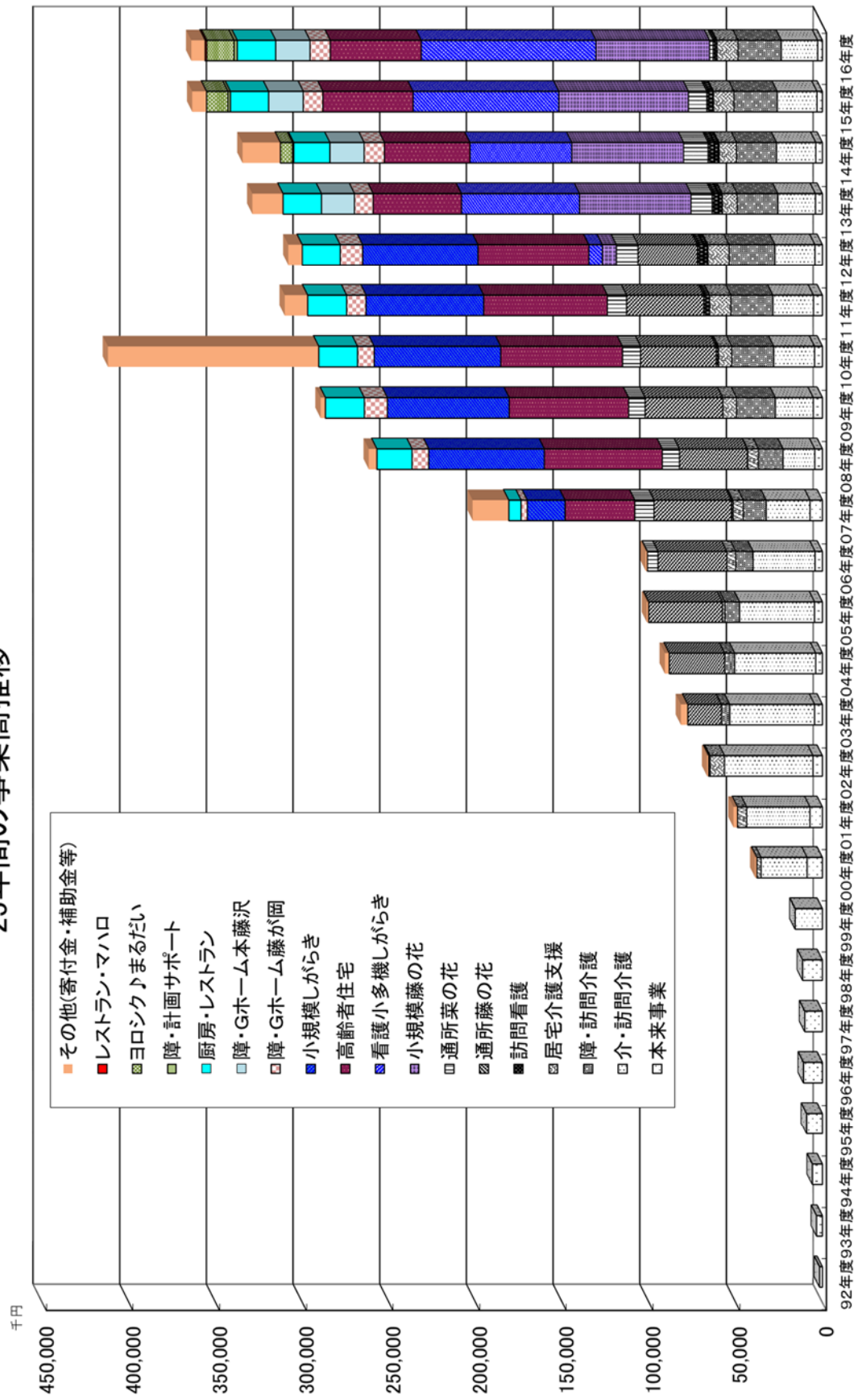


- 安全衛生委員会
- 研修プロジェクト
- 二番館検討委員会
- 花どけい編集委員会
- 交流会企画委員会
- 防災委員会

◆メンバー構成◆ 2017. 3. 31 現在

20代	2名	1.4%
30代	5名	3.5%
40代	42名	29.8%
50代	39名	27.7%
60代	38名	27.0%
70代	13名	9.2%
80代	2名	1.5%
計	141名	

## 25年間の事業高推移

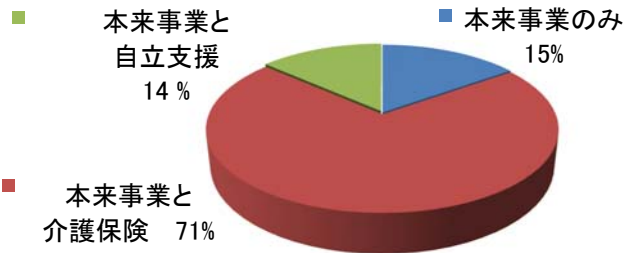




# ご利用者 分布

(2017年3月)

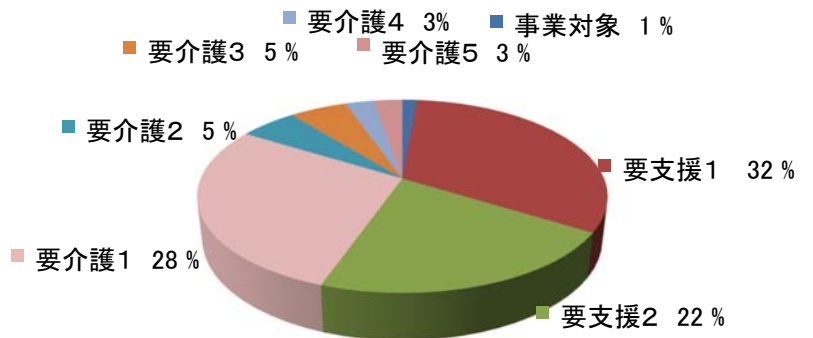
## 訪問介護(本来事業)



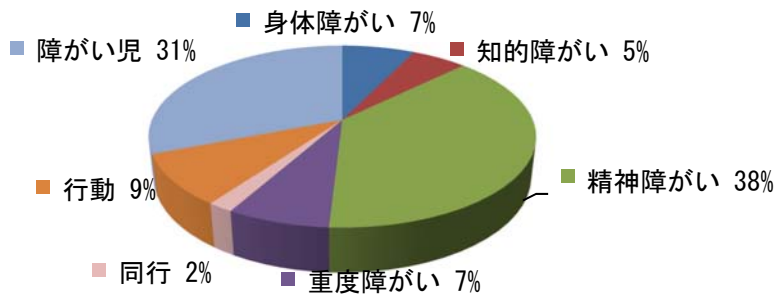
年齢	%
10歳代	3%
40歳代	3%
50歳代	3%
60歳代	16%
70歳代	20%
80歳代	44%
90歳代	11%

## 訪問介護(介護保険)

年齢	%
50歳代	3%
60歳代	8%
70歳代	22%
80歳代	55%
90歳代	11%
100歳代	1%



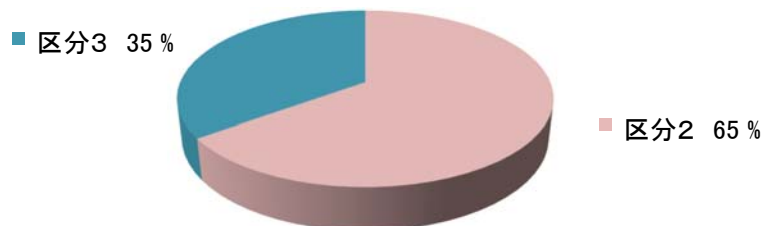
## 訪問介護(障がい者総合支援)



年齢	%
児童	12%
10歳代	32%
20歳代	7%
30歳代	7%
40歳代	16%
50歳代	11%
60歳代	11%
70歳代	2%
80歳代	2%

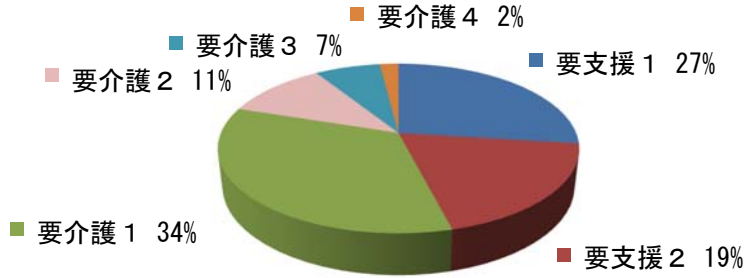
## 障がい者グループホーム

年齢	%
20歳代	6%
30歳代	12%
40歳代	41%
50歳代	35%
60歳代	6%

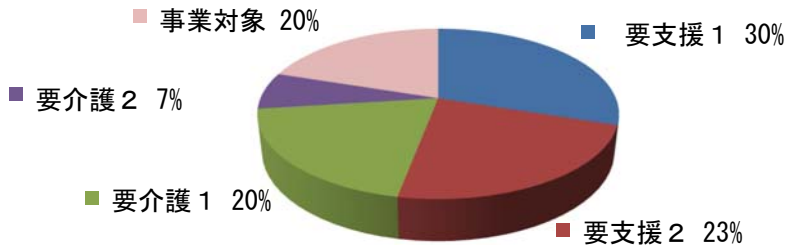


居宅介護支援

年齢	%
50 歳代	3 %
60 歳代	4 %
70 歳代	23 %
80 歳代	55 %
90 歳代	14 %
100 歳代	1 %



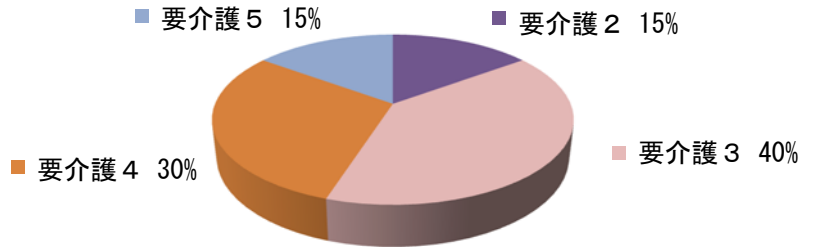
通所介護(アクアデイ菜の花)



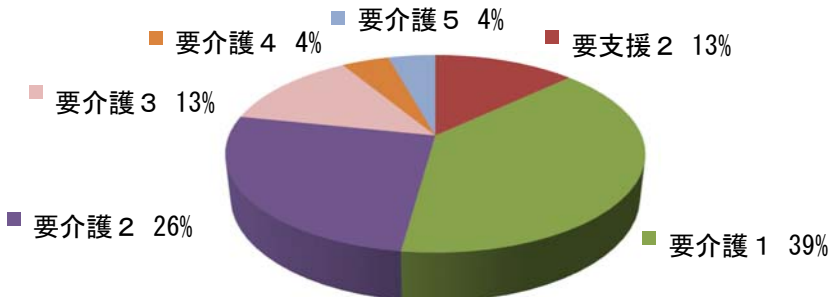
年齢	%
50 歳代	7 %
60 歳代	7 %
70 歳代	33 %
80 歳代	46 %
90 歳代	7 %

看護小規模多機能型居宅介護(しがらきの湯)

年齢	%
70 歳代	15 %
80 歳代	50 %
90 歳代	30 %
100 歳代	5 %



小規模多機能型居宅介護(藤の花)



年齢	%
60 歳代	9 %
70 歳代	13 %
80 歳代	48 %
90 歳代	26 %
100 歳代	4 %

2016年度 全体研修・部門別研修

		月 日	名 称	
全体研修	内部研修	通年	新入会研修	
		6月14日	藤・すみれ共催福井恵子「認知症にならないために『スリーA』ゲームで脳を活性化」	
		7月30日	竹内先生の介護講座	
		8月8日	法令遵守	
		8月23日	せっけん講習会	
		9月20日～10月19日 (5回)	スキルアップ研修	
		10月12日	個人情報・プライバシーの重要性	
		10月28日～11月30日 (5回)	理事長と語る会	
		11月7日	公開医療講座ことぶき耳鼻咽喉科立岡英宏Dr「高齢者の聴覚について」	
		2月11日	就業規則について	
		3月18日	救命救急講習	
	外部研修	10月4日	ノロウイルス等感染症研修	
		10月16日～22日	市民協ノルウェー海外福祉研修	
		1月7日～9日	市民協「次世代研修」	
		2月16日	在宅医療・介護連携	
		2月25日	藤沢市障害福祉法人協議会主催「対人援助の基本姿勢と技術」	
		3月4日	コミュニティビジネス事例発表会	
	部門別研修	ヘルプ チーム	4月～3月(12回)	ヘルパー会議研修「ケアマニュアル、研修計画の確認、記録の書き方、ケア時間の考え方について」他
			4月 7・13・16・23日	行動援護従事者養成研修
藤 の 花		4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「感染発生の事例検討と予防及びまん延の防止について」他	
		4月～3月(11回)	スタッフ会議独自研修「入浴介助」他	
		7月19日	藤沢市小規模連絡会研修「地域で高齢者の転倒を予防する」	
		8月25日	床ずれ予防勉強会	
		1月31日	藤沢市小規模連絡会研修「地域で支える選択肢を増やす」	
一 番 館		4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「感染発生の事例検討と予防及びまん延の防止について」他	
		10月29日	安否確認訓練	
		2月23日	看取りを支えるために	
菜 の 花		11月23日	水中運動研修	
		2月・3月(2回)	スタッフ会議研修	

		月 日	名 称
部門別研修	しがらきの湯	4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「感染発生の事例検討と予防及びまん延の防止について」他
		4月～3月(6回)	スタッフ会議独自研修「糖尿病」他
		5月25日	摂食・嚥下研修会
		5月27日	在宅での看取りについて
		6月22日	その人らしい生活を支える～糖尿病看護の視点から～
		7月19日	藤沢市小規模連絡会研修「地域で高齢者の転倒を予防する」
		9月7日	福祉車両安全運転講習会
		8月23日	移動・移乗・体位交換・ポジショニングの基本を学ぶ
		10月29日	安否確認訓練
		2月23日	看取りを支えるために
	ぐるーぷ藤ケアマネジメント	4月～3月(6回)	ミーティング研修「福祉用具について」他
		5月6日	アルツハイマー病をくい止める！
		5月17日	根拠に基づく口腔ケアから訓練まで
		8月26日、9月2日、5日	介護予防・日常生活支援総合事業勉強会
		9月2日	在宅におけるPT・OTの役割
		9月14日、2月8日	最期まで生きるプロジェクト
		2月17日	高齢者虐待の背景と基礎知識
		2月23日	成年後見人制度をまなぼう
	訪問看護ぐるーぷ藤	4月～3月(6回)	安全対策他
		5月25日	服薬管理
		9月10日	在宅における終末期ケア
		11月26日	ストーマケアの基本手技を学ぶ
		12月1日	「在宅医療・介護連携」地区別懇談会
		12月19日	エンパーマーのお話
		1月11日	ストレスチェック
	藤が岡の家・本藤沢の家	4月～3月(6回)	家ミーティング研修「他事業所見学」「大人の発達障害」他
		5月19日	住まいと暮らし連絡会会議研修「菜の話」
		7月21日	住まいと暮らし連絡会施設見学「神奈川医療少年院」
		8月16日	住まいと暮らし連絡会施設見学「藤沢病院・はうすたんぼぼ」
		9月15日	神奈川福祉サービス振興会主催「知的障害・自閉症の生涯特性の理解と支援のポイント」
9月29日		藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会研修「宿泊型自立訓練施設みずきについて」	
10月13日		藤沢市住まいと暮らし連絡会主催「障がい者グループホームにおける防災対策」	
12月15日		住まいと暮らし連絡会会議研修「精神科訪問看護」	
1月19日		住まいと暮らし連絡会施設見学「児童養護施設白十字林間学校・自立援助ホームつばさの家」	

		月 日	名 称
部門別研修	計画サポート ぐるーぷ 藤	4月～3月(10回)	藤沢基幹相談支援センターえぼめいく主催「グループスーパービジョン」
		4月13日	メンタルヘルスサポート協会主催「カウンセリングのいろは」
		5月15日	KCN主催「障害者総合支援法と介護保険法」
		5月27日	カウンセリング研究会主催「カウンセリングに役立つかもしれない性の話」
		7月11日	地域協働会議「老年期のこころの病」
		7月21日	藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会主催「藤沢市が目指す地域包括ケア」
		10月13日	在宅医療・介護他職種研究会
		11月17日	藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会主催「障がい者差別解消法とこれからの支援者の役割」
		12月12日	第3回精神保健福祉公開講座「一からわかるてんかん」
		2月5日	神奈川県精神保健福祉士会「これでいいのか相談～本当に利用者の声が聴けていますか」
		2月6日	神奈川県精神保健福祉センター「精神障害者の地域生活～共に生きるを考える」
		2月11日	藤沢市相談支援ネットワーク主催「発達障害の面談とその実践について」
		2月25日	藤沢市障害福祉法人協議会主催「対人援助の基本姿勢と技術」
		厨房	4月～3月(6回)
	5月26日,6月16日		食品衛生責任者講習会
	6月9日		湘南ホスピタル主催「嚥下食について」
	1月26日		メディケアフーズ展
	事務局	4月～3月(6回)	事務局会議研修「藤沢市総合事業の事務処理について」他
	ヨロシク♪ まるだい	10月19日	生活支援コーディネーター養成研修研究協議会
		10月20日	支え合いを広げる住民主体の生活支援フォーラム
		1月19日	生活支援コーディネーターフォローアップ研修
		1月28日	女性視点で考えるまちづくり講座
		2月3、13日	生活支援コーディネーター養成研修

# 年間活動一覧

2016年4月～2017年3月

月	日	内部活動	日	研修、学習	日	外部活動
4月	1	第1回運営会議 1 花どけいNo.81発行 4 ホームヘルプミーティング 4 厨房ミーティング 6 部門代表会議 9 第1回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 10 花どけいNo.81発行 15 二番館地鎮祭 18 計画サポートミーティング 18 税理士打合せ 21 第1回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議 21 ヨロシクまるだいいコーディネーター会議 22 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 25 交流会企画委員会 26 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング 28 ケアマネミーティング	13	カウンセリングのい・ろ・は 主催：メンタルヘルスサポート協会	5	認定NPO法人市民福祉団体全国協議会（市民協） 5 市民協三役会議 8 一般社団法人市民福祉支援協議会 9 ～10市民協被災地支援 14 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 18 ふじさわ福祉NPO連絡会 19 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ 20 藤沢市市民活動推進委員委員式 21 民間介護事業推進委員会 21 藤沢市住まいと暮らし連絡会 22 一般社団法人市民福祉支援協議会理事会 24 コンフォール藤沢自治会総会 25 藤沢東部包括・西部包括・社協顔合わせ 26 市民協常務理事会
5月	2	厨房ミーティング（30） 6 運営会議 9 ホームヘルプミーティング、交流会企画委員会 10 二番館定例会（18.24.31） 11 部門代表会議 14 第2回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 16 事務局会議 17 訪問看護ミーティング 18 研修プロジェクト 19 2015年度監査 19 ヨロシクまるだいいコーディネーター会議 25 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング 26 税理士打合せ 27 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 28 ケアマネミーティング	10	集団指導講習会（居宅介護支援・訪問介護） 12 集団指導講習会（訪問看護） 14 スクエアステップ指導講習会 14 「アルツハイマー病をくいとめろ」 主催：富士白苑 15 「高齢障がい者への支援を考える」 主催：かながわ障がいケアマネ従事者ネットワーク 17 在宅療養口腔ケア研修会 主催：富士白苑 19 非がんの終末ケアについて 主催：いきるけあ 25 服薬管理研修 主催：神奈川県看護協会 25 パナソニックエイジフリー見学 26 給食施設衛生講習会 26 多職種研修会「摂食・嚥下研修会」 27 多職種研修会「在宅での看取りについて」 27 カウンセリングに役立つかもしれない性の話 27 サンライズくずはら見学	9	一般社団法人市民福祉支援協議会 10 藤沢地区診断会議 12 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 16 ふじさわ福祉NPO連絡会 17 江戸川総合人生大学 講師 17 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会 18 藤沢市市民活動推進委員会 19 藤沢市住まいと暮らし連絡会 19 藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会 24 小規模多機能型居宅介護連絡会 28 NPO法人昂の会総会 30 民間介護事業推進委員会 31 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会
6月	3	運営会議 5 第12回（通算第24回）通常総会、第1回理事会 6 ホームヘルプミーティング 7 二番館定例会（14.21.28） 8 部門代表会議 11 第3回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 13 交流会企画委員会 15 厨房会議 15 二番館建設委員会（23.28） 16 第2回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議 16 ヨロシクまるだいいコーディネーター会議 18 一番館家族会 20 計画サポートミーティング 22 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング 24 税理士打合せ、藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 27 第2回理事会 30 ケアマネミーティング	9	嚥下研修 10 総合事業に関する説明会 14 ボランティアすみれ研修「認知症予防体操」 16 食品衛生責任者研修 22 「その人らしい生活を支える～糖尿病看護の視点から」 主催：藤沢市介護保険事業所連絡会 23 相談支援連絡会グループスーパービジョン 主催：えぼめいく	1	市民協三役会議 4 市民協理事会・総会・シンポジウム 9 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 16 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会 16 藤沢市住まいと暮らし連絡会 19 「地域フォーラム」パネリスト 主催：ワーコレ「実結」 20 ふじさわ福祉NPO連絡会 23 計画相談支援連絡会 24 ～25 「生活支援サポーター養成研修」講師 主催：長久手市 28 計画相談支援・障害児相談支援連絡会 主催：えぼめいく
7月	1	運営会議 2 第1回交流会「八景島」 4 ホームヘルプミーティング、交流会企画委員会 5 二番館定例会（12.19.26） 6 部門代表会議 9 第4回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議、花どけいNo.82発行 11 事務局会議 13 ヨロシクまるだいいキッチンボランティア会議 14 藤が岡の家食事会 15 防災委員会 19 訪問看護ミーティング 21 ヨロシクまるだいいコーディネーター会議 22 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 27 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング 28 税理士打合せ、ケアマネミーティング	7	医療保険集団講習会 11 地域協働会議「老年期の心の病」 主催：藤沢病院 16 東海大学指導者研修 19 「転倒予防・バランスの評価」 主催：小規模多機能型居宅介護連絡会 20 「バイスティック7原則について」 主催：いきるけあ 21 「藤沢型地域包括ケアシステム」 主催：藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会 29 相談支援連絡会グループスーパービジョン 主催：えぼめいく 29 「介護予防ケアマネジメントの考え方」 主催：居宅介護支援連絡会・包括 30 第24回竹内先生介護講座 主催：ぐるーぶ藤研プロジェクト	2	藤沢市縁側事業 審査員 7 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会 9 藤沢せっけんまつり 11 市民協三役会議 15 民間介護事業推進委員会 20 吹田市視察における講師 20 藤沢市市民活動推進委員会 21 藤沢市住まいと暮らし連絡会 25 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会 29 NPO法人昂の会講演会「これからの住まいと生活」講師
8月	1	厨房ミーティング（29） 5 運営会議 8 ホームヘルプミーティング、交流会企画委員会 9 「こどもの生活支援事業」プレゼン、二番館定例会（16.23.30） 10 部門代表会議 13 第5回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 17 厨房会議 18 第3回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議 18 ヨロシクまるだいいコーディネーター会議 22 役員報酬検討委員会 24 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング 25 ケアマネミーティング 26 税理士打合せ、藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 29 交流会企画委員会	3	介護予防・日常生活支援総合事業勉強会 主催：辻堂東・西包括 10 神奈川リハビリテーションセンター内七沢自立支援ホーム見学 12 集団指導講習会（小規模） 23 「移動・移乗・体位交換・ポジショニング」主催：神奈川県医師会 23 せっけん学習会 講師：藤沢市せっけん推進協議会 主催：ぐるーぶ藤研プロジェクト 23 防火管理者研修 24 防火管理者研修 25 相談支援連絡会グループスーパービジョン 主催：えぼめいく 26 介護予防・日常生活支援総合事業勉強会 主催：鶴沼東包括 29 さんわーくかぐや、クラブハウスインユー見学 30 防火管理者研修 31 防火管理者研修	1	一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会 1 藤沢市縁側事業 審査員 8 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 15 ふじさわ福祉NPO連絡会 18 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 18 藤沢市住まいと暮らし連絡会 22 障害就労相談センター 23 訪問型サービスAヘルパー養成研修（24.29） 25 市民協常務理事会 26 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会 27 コンフォール藤沢自治会夏まつり 30 民間介護事業推進委員会
9月	2	運営会議 5 ホームヘルプミーティング、事務局会議 6 二番館上棟式 7 部門代表会議 10 第6回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議 訪問看護ミーティング 13 二番館定例会（20.27） 14 ヨロシクまるだいいキッチンボランティア会議 15 ヨロシクまるだいいコーディネーター会議 23 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング 24 第2回交流会「大山バスツアー」 26 第3回理事会 27 税理士打合せ 28 二番館建設委員会 28 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング 29 ケアマネミーティング 30 運営会議	2	訪問リハビリ勉強会 主催：ナースケア 3 認知症予防講座 コグニサイズ 10 「在宅における終末期ケア」 主催：神奈川県看護協会 14 「最後まで家で生きるプロジェクト」ミーティング 14 「知的障害や自閉症の障害特性の理解と支援のポイント」 ～19 流水プール研修（長野・屋代） 20 「介護保険と障がい制度の適用関係」 主催：藤沢市居宅介護支援事業所連絡会 29 スキルアップ研修「訪問介護の基礎と共感的理解」 主催：ぐるーぶ藤研プロジェクト 29 地域生活連絡会「藤沢病院・宿泊型自立訓練施設開設所」 29 相談支援連絡会グループスーパービジョン 主催：えぼめいく	5	一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会 8 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 15 藤沢市住まいと暮らし連絡会 20 ふじさわ福祉NPO連絡会 21 民間介護事業推進委員会 29 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会

10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 ホームヘルプミーティング</li> <li>5 部門代表会議</li> <li>8 第7回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議花どけいNo.83発行</li> <li>10 花どけいNo.83発行</li> <li>11 二番館定例会(18.25)</li> <li>12 ヨロシク♪まるだいきッチンボランティア会議</li> <li>13 ヨロシク♪まるだいきーディネーター会議</li> <li>17 役員報酬検討委員会</li> <li>20 第4回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議</li> <li>24 こどもまるだいきーティング</li> <li>26 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング</li> <li>27 税理士打合せ</li> <li>27 ケアマネミーティング</li> <li>28 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング</li> <li>31 こどもまるだいきーティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6 スキルアップ研修「すっきり・快適排泄介助」 主催:研修PJ</li> <li>11 スキルアップ研修「バリデーション・セラピー」 主催:研修PJ</li> <li>10 ~22 海外研修(ノルウェー) 主催:研修PJ</li> <li>12 国際福祉機器展</li> <li>13 「障がい者グループホームの防災対策について」 主催:藤沢市住まいと暮らし連絡会</li> <li>14 「認知症のケア・予防・治療について」 主催:藤沢市居宅介護支援事業所連絡会</li> <li>19 スキルアップ研修「褥瘡・拘縮をふせぐトレーニング」 主催:研修PJ</li> <li>21 スキルアップ研修「接遇」 主催:研修PJ</li> <li>28 理事長と語る会 主催:研修PJ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 NPO法人昴の会20周年記念式典</li> <li>11 民間介護事業推進委員会</li> <li>13 訪問型サービスAヘルパー養成研修(27.31)</li> <li>20 藤沢市住まいと暮らし連絡会</li> <li>26 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会</li> <li>26 藤沢市市民活動推進委員会</li> <li>28 市民協常務理事会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 二番館定例会(8.15.22.29)</li> <li>4 運営会議</li> <li>7 ホームヘルプミーティング</li> <li>9 ヨロシク♪まるだいきッチンボランティア会議</li> <li>9 部門代表会議</li> <li>12 第8回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議</li> <li>14 事務局会議</li> <li>17 防災委員会、ヨロシク♪まるだいきーディネーター会議</li> <li>21 交流会企画委員会</li> <li>21 厨房ミーティング</li> <li>23 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング</li> <li>24 ケアマネミーティング</li> <li>25 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング</li> <li>25 税理士打合せ</li> <li>25 こどもまるだいきーティング</li> <li>28 役員報酬検討委員会</li> <li>29 二番館シフト会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 理事長と語る会 主催:研修PJ</li> <li>15 理事長と語る会 主催:研修PJ</li> <li>23 「介護の日」 主催:藤沢市介護保険課</li> <li>23 超音波流水プール研修</li> <li>24 理事長と語る会 主催:研修PJ</li> <li>24 「非がんの終末期ケアについて(糖尿病)」 主催:いきるけあ</li> <li>26 「ストーマケアの基本的な手技を学ぶ」「器具交換の手技」</li> <li>28 「施設内の高齢者虐待を未然に防ぐ方法」</li> <li>29 公開医療講座「高齢者の聴覚について」 主催:研修PJ</li> <li>30 理事長と語る会 主催:研修PJ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10 藤沢市個人情報保護制度運営審議会</li> <li>14 訪問型サービスAヘルパー養成研修(16.18.22.24.)</li> <li>15 民間介護事業推進委員会</li> <li>15 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会</li> <li>15 小規模多機能型居宅介護連絡会</li> <li>15 ふじさわ福祉NPO連絡会</li> <li>17 NPO法人昴の会役員会</li> <li>17 藤沢市住まいと暮らし連絡会</li> <li>17 藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会</li> <li>22 福島県居住支援協議会</li> <li>22 大庭中学職場体験発表会</li> <li>27 藤沢市市民活動推進委員会</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ぐるーぶ藤二番館・アクア棟開設(藤の花移転オープン)</li> <li>2 運営会議(27)</li> <li>7 部門代表会議</li> <li>7 二番館ケアマネ見学会</li> <li>9 ホームヘルプミーティング</li> <li>10 第9回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議</li> <li>12 役員報酬検討委員会</li> <li>13 二番館定例会(20)</li> <li>15 ヨロシク♪まるだいきーディネーター会議</li> <li>15 第5回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議</li> <li>19 交流会企画委員会</li> <li>21 厨房会議</li> <li>22 税理士打合せ、防災委員会</li> <li>23 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング、まるだいきーティング、クリスマス会</li> <li>26 第4回理事会</li> <li>28 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング</li> <li>29 ケアマネミーティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 在宅医療・介護連携地区懇談会</li> <li>3 「介護で抱えたストレスと上手につきあうために」</li> <li>10 「楽する介護」</li> <li>12 第3回精神保健福祉公開講座「一からわかるてんかん」</li> <li>16 「在宅での疼痛スケールの生かし方(緩和ケアの実践)」</li> <li>19 「非がんの終末期ケアについて」 主催:いきるけあ</li> <li>20 「認知症初期集中支援チームについて」 主催:藤沢市居宅介護支援連絡協議会</li> <li>22 相談支援連絡会グループスーパービジョン 主催:えぼめいく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 市民協三役会議</li> <li>5 横浜国立大学講師</li> <li>8 生活支援コーディネーター連絡会</li> <li>8 藤沢市個人情報保護制度運営審議会</li> <li>10 ~12 福島県居住支援協議会及び被災地支援</li> <li>15 藤沢市住まいと暮らし連絡会</li> <li>19 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会</li> <li>20 ふじさわ福祉NPO連絡会</li> <li>21 市民協常務理事会</li> <li>22 相談支援連絡会</li> <li>26 民間介護事業推進委員会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 アクアデイ菜の花開所</li> <li>6 運営会議(30)</li> <li>9 ホームヘルプミーティング</li> <li>10 二番館定例会(17.24.31)花どけいNo.84発行、</li> <li>11 部門代表会議</li> <li>11 ヨロシク♪まるだいきッチンボランティア会議</li> <li>12 第10回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議、新年会</li> <li>16 事務局会議</li> <li>19 防災委員会</li> <li>19 ヨロシク♪まるだいきーディネーター会議</li> <li>20 二番館検討委員会</li> <li>23 厨房ミーティング</li> <li>25 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング</li> <li>26 ケアマネミーティング</li> <li>27 税理士打合せ、藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11 「ストレスチェック」</li> <li>18 ツクイ藤沢駅前見学</li> <li>19 生活支援コーディネーターフォローアップ研修</li> <li>19 ヨロシク♪まるだいきーティング「終活セミナー」</li> <li>23 口腔ケア研修 講師:KEN歯科</li> <li>26 メディケアフード展</li> <li>28 女性の視点で考えるまちづくり講座</li> <li>31 藤沢市小規模多機能型居宅介護連絡協議会研修「地域で支える選択肢を増やす」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 藤沢市質問交換会</li> <li>7 ~9市民協「次世代リーダー研修」</li> <li>8 コンフォール藤沢自治会新年会</li> <li>13 新年会 主催:介護保険課・居宅介護支援事業所連絡協議会</li> <li>16 民間介護事業推進委員会</li> <li>16 市民協三役会議</li> <li>17 ふじさわ福祉NPO連絡会</li> <li>18 藤沢市訪問看護ステーション連絡協議会</li> <li>19 藤沢市住まいと暮らし連絡会</li> <li>23 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会</li> <li>25 藤沢市市民活動推進委員会</li> <li>82 あべともこ新春のつどい</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 防災委員会(16)</li> <li>3 運営会議(13)</li> <li>6 ホームヘルプミーティング</li> <li>6 二番館検討委員会(24)</li> <li>7 二番館定例会(14.21.28)</li> <li>8 部門代表会議(15.22)</li> <li>11 第11回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議</li> <li>16 ヨロシク♪まるだいきーディネーター会議</li> <li>20 厨房ミーティング</li> <li>20 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング</li> <li>23 しがらきの湯運営推進会議</li> <li>23 ケアマネミーティング</li> <li>24 税理士打合せ</li> <li>24 藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング</li> <li>25 藤の花家族会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 生活支援コーディネーター養成講座(13)</li> <li>9 ヨロシク♪まるだいきーティング認知症サポーター研修</li> <li>11 「発達障害の相談とその実践について」</li> <li>16 「在宅医療・介護連携」地区懇談会 主催:藤沢市</li> <li>17 「高齢者虐待防止の基礎知識」 主催:居宅介護支援事業所連絡会</li> <li>23 「成年後見人制度申し立ての壁と対策」 主催:共生会</li> <li>23 相談支援連絡会グループスーパービジョン 主催:えぼめいく</li> <li>24 かたくりの里(精神障害グループホーム)見学研修</li> <li>24 成年後見制度</li> <li>25 「看取りを支えるために」</li> <li>25 「対人援助の基本姿勢と技術」 主催:藤沢市障害福祉法人協議会 共催:藤沢市施設長会・藤沢市住まいと暮らし連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 生活支援コーディネーター連絡会</li> <li>9 藤沢市個人情報保護制度運営審議会</li> <li>10 市民協三役会議</li> <li>16 藤沢市小規模多機能型居宅介護連絡会地区懇談会</li> <li>16 藤沢市住まいと暮らし連絡会</li> <li>17 「訪問型サービスAヘルパー研修」打合せ</li> <li>20 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会</li> <li>21 ふじさわ福祉NPO連絡会</li> <li>23 計画支援連絡会</li> <li>27 「実結」法人設立総会</li> <li>27 ~28 シニアインストラクター養成講座 講師</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 部門代表会議(8.15.22.29)</li> <li>2 藤の花運営推進会議</li> <li>3 運営会議(6.31)</li> <li>6 ホームヘルプミーティング</li> <li>7 二番館定例会(28)</li> <li>8 ヨロシク♪まるだいきッチンボランティア会議</li> <li>11 第12回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議</li> <li>13 事務局会議</li> <li>15 臨時理事会</li> <li>16 ヨロシク♪まるだいきーディネーター会議</li> <li>24 一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング</li> <li>27 第5回理事会</li> <li>27 税理士打合せ、厨房ミーティング</li> <li>28 防災委員会</li> <li>28 二番館検討委員会</li> <li>30 ケアマネミーティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 災害対策説明会</li> <li>4 「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」</li> <li>11 「ともに生きる社会をめざして」 主催:藤沢市精神障害連絡会</li> <li>14 ケアマネサロン「菜の使い方」 主催:村岡包括</li> <li>14 ~15 リーダー研修 主催:研修PJ</li> <li>15 地域の縁側事業者研修</li> <li>17 「高齢者の虐待について」研修</li> <li>18 救命救急研修 主催:研修PJ</li> <li>18 虐待防止研修</li> <li>22 介護職員処遇改善説明会</li> <li>22 あすなろサポート見学</li> <li>23 「大学生がつくる現代の寺子屋」見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 コミュニティビジネス事例発表会 講師</li> <li>4 「私たちのつながり方」パネリスト 共催:藤沢市障害事業所代表者会議・えぼめいく</li> <li>9 藤沢市個人情報保護制度運営審議会</li> <li>16 藤沢市住まいと暮らし連絡会</li> <li>21 藤沢市小規模多機能型居宅介護連絡会</li> <li>21 ふじさわ福祉NPO連絡会</li> <li>22 一般社団法人市民福祉支援協議会打合せ・理事会</li> <li>28 民間介護事業推進委員会</li> </ul>